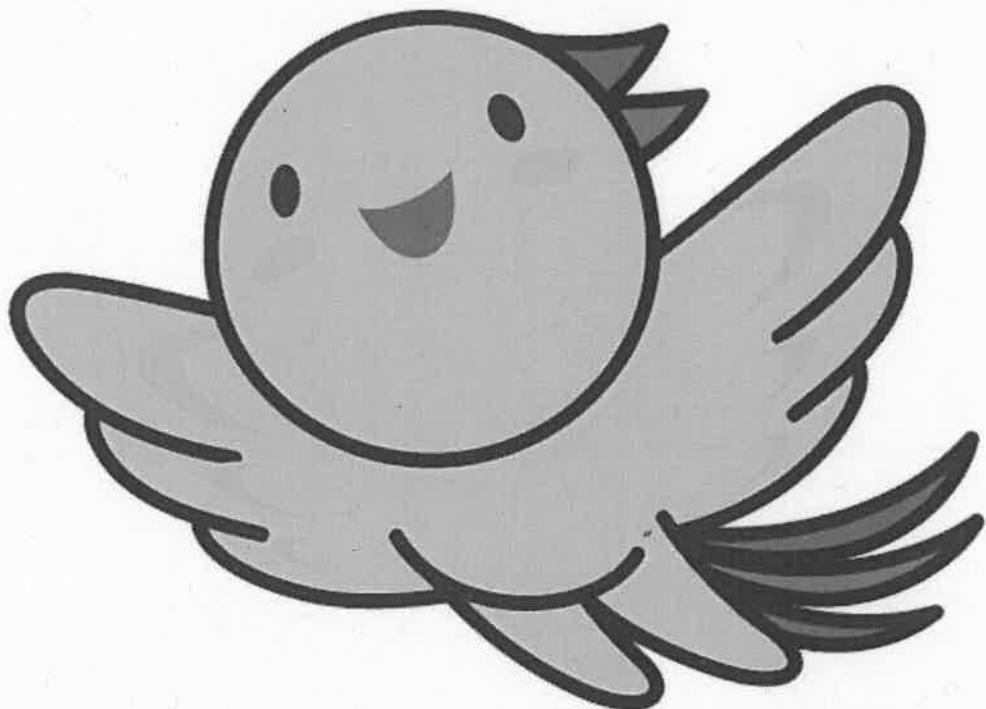


**2021年度
阪神南ふるさとづくり応援事業**

事例集



兵庫県阪神南県民センター

目 次

第1次募集分

市	事業名	団体名	ページ
尼崎市	「元気と活気 長寿社会を楽しむ智恵」事業 －今からでも遅くない－	潮江幸齢者ふれあいサロン	1
芦屋市	甲南高校生による高齢者向けリモート交信技術の研修	茶屋之町自治会	7
芦屋市	高校生が発見・発信する芦屋の魅力	あしや部	11

第2次募集分

市	事業名	団体名	ページ
尼崎市	第10回武庫之荘駅ロータリー祭り	武庫之荘水と緑のまちづくりプロジェクト実行委員会	17
尼崎市	第19回契沖顕彰短歌大会	契沖の会	25
尼崎市	コロナに負けない! 「空手を核とした多世代・多種目交流会2021」	道慎館	29
尼崎市	三世代交流「クリスマスパーティ」及び「もちつき大会」による地域活性化事業	武庫第6コミュニティ委員会	35
尼崎市	地域で楽しく繋がる防災	おぞの探検隊	43
尼崎市	旧塚口永楽商店街跡 空き店舗活用地域親子次世代交流イベント開催	NPO法人ASUネット	49
尼崎市	尼崎えびす神社手づくり市	尼崎えびす神社手づくり市実行委員会	53
尼崎市	フットサル国際交流事業	尼崎市国際交流協会	57
尼崎市	地域団体連携による子育て応援隊事業	特定非営利活動法人やんちゃんこ	61
尼崎市	リズム寺	ちきちきクラブ	65
尼崎市	ジャズコンサート&ダンスパーティ2021	コミュニティルーム武庫運営委員会	69
尼崎市	「魅力ある園田のまちづくり・グランドデザイン」の提言	園田まちづくり委員会	73
西宮市	コロナ禍の中、地域高齢者のいきがいづくりと多世代交流活性化事業	なないろの会	77

西宮市	フラッグフットボール体験会の開催による 地域内外交流イベント	特定非営利活動法人 西宮フットボールクラブ	81
西宮市	見守り弁当事業	南甲子園つなぐ会	85
西宮市	西宮市上ヶ原地区高齢者福祉事業の充実を図るための ポッチャ大会の開催	西宮市上ヶ原地区 社会福祉協議会	87
西宮市	「魅力あるまちなみ景観」推進事業	西宮まちなみ発見倶楽部	91
西宮市	室町時代のご当地曲 能「西宮」を謡おう！	能「西宮」を謡おう実行委員会	103
芦屋市	HAI's講座	芦屋市朝日ヶ丘地区集会所 運営協議会	109
芦屋市	芦屋ファーマーズマーケット 「暮らし野菜」	フライパン	113
芦屋市	洋服で地域と人とつながろう	tumugu	119

1-1 「元気と活気 長寿社会を楽しむ智恵」事業 -今からでも遅くない-

/潮江幸齢者ふれあいサロン

活動地域	尼崎市
協働団体	NPO 法人歌と音楽の会
事業の目的・趣旨	<p>人生 100 歳時代を迎えた今日、最大の課題は定年退職後の男性や子育てを終えた女性たちの生き甲斐対策である。自分でライフワークを持ち、生き生きと生きている方もいるが、大多数の人は何をするか悩んでいる状態です。</p> <p>そこで、気軽に集まり、楽しく過ごせる居場所を設け、お互いに刺激しあい、生きる力を涵養することを目的にサロンを開設している。</p>
事業内容	<p>I. 個人の活動内容や活躍について発表する場の提供</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 持論を発表する(2) 自分の研究テーマの発表の場<ul style="list-style-type: none">・民俗学「カラスと日本人」「馬と日本人」(3) 自分の趣味の世界の発表の場<ul style="list-style-type: none">・「私と源氏物語」・「スマホを使った映像作成」(4) 自分の活動内容の発表の場<ul style="list-style-type: none">・「尼崎市全市公園化構想」(5) 趣味の音楽や絵画を発表の場<ul style="list-style-type: none">・クリスマスコンサートの開催 <p>II. 社会施設の見学や体験学習</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 丹波市青垣町への農業体験 <p>III. 自分史などの発行支援</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 小説・隨想・短歌選集・川柳選集を延15名の方が発行した。 <p>IV. 関係団体支援事業</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 川柳サロンはなみずき（毎月1回：第三土曜日開催）(2) 短歌個性阪神（毎月1回：第三土曜日開催）(3) 尼崎を美しくする会（隨時）

	年	月	日	活動場所	実施内容	参加人数	
						スタッフ	参加者
実施経過	3	10	19	コミュニティサロン はなみずき	※コロナ禍のため、 4月～9月は集会を中止した。 第1回集会 「講話」第1回：根木良一の自論 講師 根木 良一	6	18
		10	26	コミュニティサロン はなみずき	第2回集会 「講話」私と源氏物語 講師 高田 昌子	6	18
		11	09	コミュニティサロン はなみずき	第3回集会 「講話」第2回：根木良一の自論 講師 根木 良一	6	14
		11	16	コミュニティサロン はなみずき	第4回集会 「講話」映像で辿る日本の原風景 講師 根岸 絹代	6	14
		11	21		特別企画 「秋の丹波路癒やしの旅」 —農業体験と薬膳料理—	6	20
		11	30	コミュニティサロン はなみずき	第5回集会 「講話」日本人と馬（民俗学） 講師：雀部 倉平	6	20
		12	07	コミュニティサロン はなみずき	第6回集会 「講話」第3回：根木良一の自論 講師 根木 良一	6	16
		12	14	コミュニティサロン はなみずき	第7回集会 「講話」カラスと日本人（民俗学） 講師 辰巳 衛治	6	16
		12	21	コミュニティサロン はなみずき	第8回集会 「特別企画」 クリスマスミニコンサート —バイオリン・ピアノ・歌唱— ①バイオリン演奏 村上 清三 ②ピアノ演奏 坂口 利子 ③歌唱 中野 博雅	6	21
	4	01	11	コミュニティサロン はなみずき	第9回集会 「講話」アロマセラピーについて 講師 市川 容子	6	20

目標の達成状況	<p>1. 交流の多元化 この会は、従来の地域の活動の輪を広げ、広範囲な交流を目指してきたが、本年度は、尼崎ゆかりの人々（元高等学校長、元尼崎郵便局長、元尼崎藩主青山家当主など）との交流が広がり、大変充実した一年であった。 参加者がこの会のことを友人などに話し、「楽しい会」との噂が広がり、新しい参加者が増えてきている。</p> <p>2. 自分史発行支援事業 本年度は、延べ15冊の冊子を刊行した。ジャンルは、小説、随想、短歌、川柳など、多岐にわたっているが、それぞれ自分の思いをぶつけて挑戦した。 刊行物を家族、知人、友人などに配布し、自分の思いを知ってもらったことや自分の現在の活動について称賛する電話や手紙がもらって、一層励みになったとの声が多く寄せられた。この事業の持つ力に驚いている。今後も継続する必要を強く感じている。</p> <p>3. 支援団体の活性化 川柳サロンはなみずき、短歌個性阪神、尼崎を美しくする会などの活動を紹介することにより、各団体の参加者の理解者が増えている。今後もこの活動は継続していきたい。</p>
事業効果	<p>1. 交流の多元化 各団体との交流の場が広がり、連携して市民活動を行いたいとの機運が高まってきた。</p> <p>2. 自分史発行支援事業 この事業は、当初の予測を超えて、その反響の広がりに驚いている。自分の生きてきた人生を振り返って、次の生き方のヒントにもなっている。この冊子を読んだ友人が自分も頑張ろうと思うような力強いメッセージになっている。</p> <p>3. 支援団体の活性化 支援団体からも感謝の言葉を頂いているので、活動支援は続けていきたい。</p>
補助金交付終了後の事業展開、今後の展望	<p>このサロンは多方面から継続して実施して欲しいとの要望が強い。事業の広がりや多元化に伴い、従来の運営委員からの会費や行政機関からの補助金の運営では、そろそろ財政面で苦しくなっている。この一年をかけて法人化の方向も検討する時期に来ているように感じている。</p>

【事業実施状況を示す写真等】

<集会>



<クリスマスミニコンサート>



<農業体験>



1-2 甲南高校生による高齢者向けリモート交信技術の研修

/茶屋之町自治会

活動地域	西宮市
協働団体	
事業の目的・趣旨	<p>甲南高校生とリモート方式及びマンツーマン方式でスマホ利用、ZOOM利用の指導を仰ぐ。</p> <p>この指導を通じて、スマホ利用技術（ZOOM利用時のパソコンも含む）習得により、高齢者見守り、家からでも多くの住民が自治会活動に参加できる環境づくりを目指す。</p>
事業内容	<p>自治会発行の広報誌「自治会だより」を全戸配布して参加者を募り、新規参加者及び継続希望者等の参加を得て、毎月、茶屋集会所で開催。</p> <p>外部から入手した教材もテキストとして利用したが、基本的には参加者各自が抱える疑問などをマン・ツー・マンシステムで開催した。コロナ感染拡大時期と重なり、開催できない月もあったが、ZOOM利用を新たに研修することで、リモートでのコミュニケーションのテクニックを習得できた。</p> <p>指導役の甲南高校生は、学校のボランティア委員会に所属しており、毎月参加する学生や初参加する学生も混じって、地域住民との指導・交流を経験。</p> <p>コロナ感染対策のため、開始月を6月に遅らせた。令和4年2月中旬に終了予定であったが、オミクロン感染拡大のため、1月に続き実施できず、実質令和3年12月で終了した。</p> <p>年間を通してコロナ、オミクロン感染対策で開催できなかった月の受講者や、講習に参加できないが自宅で勉強したいという希望者に教材をコピーして配布した。</p> <p>上記の事情を背景に講習期間の短縮の可能性を見越し、参加者数を当初計画よりも多くして実施した。結果的には、これが正しかった。</p>

【参加者】 受講者 43名

スタッフ 15名

	年	月	日	場所	実施内容	参加人数	
						スタッフ	参加者
事業経過	3	4	10		コロナ感染拡大のため中止 同上		
		5	8				
	6	12	茶屋集会所		コロナ感染が一段落したので開始 (参加者と高校生から感想発表)	2	7
		7	10	同上	マン・ツー・マン方式によるスマホ研修	1	7
	8	21	同上		ZOOM の使い方講習と実地使用 (集 会所と高校のリモート交流)	2	7
		10	24	同上	マン・ツー・マン方式によるスマホ研修 (特にLINEの使い方)	2	7
	11	20	同上		同上 当日、兵庫県立兵庫高校から生徒、 教師各 1 名が見学に来訪	5	8
		12	18	同上	マン・ツー・マン方式によるスマホ研修 (特にLINEの使い方、アプリの利用等)	3	7
	4	1			オミクロン拡大のため中止		
		2			同上		
目標の達成状況					当初からマン・ツー・マン方式が参加者個人のレベルに合わせることが望ましい と考えられていたので、参加者には抵抗なく喜ばれた。 コロナ感染防止のため、学校／集会所と離れた場所でZOOM利用によるリモート研修ができたのは、予想外のことであった。 コロナ、オミクロン感染下で回数は減ったが、逆に参加希望者が増え、実施内容は濃かった。		
事業効果					何より、マン・ツー・マン方式 (感染症対策としてシールド板も設置) が参加者に 喜ばれた。参加者の疑問等は全員異なり、他人に聞かれずに済むことが何より参加の ハードルを下げ、誰でも気軽に参加できるという気持ちが浸透。伝え聞いて新たな住 民参加も増えてきた。高校生も家族と接する時とは別の感情で対応。甲南高校生は本 取組を日経のSDGsコンテストで発表し、優秀賞を受賞。生徒／住民ともに成果を 喜んだ。他町からも本取組が注目されている。		
補助金交付終了後の事業展開、今後の展望					甲南高校ボランティア委員会の生徒も新2年、3年生を中心に継続したいとの意向を 確認している。一方、町内でも継続を希望する声が強く、社会福祉協議会を通じて令 和4年以降も同じ内容で継続したい意向を伝えている。甲南高校の同意も得ている。		

スマホ講座受講写真

6月



マン・ツー・マン
による指導
感染防止対策と
して、生徒と受講
者との間に
シールド板を

8月



ZOOM使用した交流（茶屋集会所 ⇄ 甲南高校）

10月



講座終了後には参加者全員から感想の発表

11月



兵庫高校から先生と
学生が見学に

12月



年末の記念写真

スマホ・カフェ・甲南高校生活躍

★茶屋集会所で開催

甲南高校のボランティア委員会所属の生徒数名が講師となってマンツーマン指導。コロナ感染防止のためZOOM活用も経験。

★以下に今回応対した高校生の感想を紹介

● 高2 A君

私は今回2回目のスマホ講座だったが、1回目の反省点をしっかりと活かし改善出来たと考えている。前回の反省点は、相手の方に説明しただけだったという点である。今回は教えた後に実際に試してもらったり、やり方のメモを書いたり、絵を描いて家に帰って忘れた時でも思い出していただけるように工夫した。しかしながら、また新しく反省点が生まれた。それは、相手の方が何を知りたいから分からないとなっている状況での対応だ。今回は途中からやりたいことが見つかったので良かったが、次からはやることが無くならないように、教える物リスト的なものを作ってもいいんじやないかと考えた。スマホ講座でリーダーとして、リーダーとしての自覚を持ち茶屋之町での活動を継続、拡大していきたい。

●高1C君

今回のスマホ講座は私にとって大きな経験となった。私は講座に参加する前に高齢者の方が質問なさるであろうことを予想して参加した。しかし実際は私の予想外の質問があった。例えばSiriの使い方やLINEでの友達追加やトークの仕方などがあった。私たちが普段から使っていたものだったのでこれらの質問はないと思っていたため最初は慌てた。しかし次第に慣れていった。また高齢者の方々はフレンドリーであったので非常に話しやすく楽しくできた。高齢者の方も事前に質問を用意していたので直ぐに質問に答え易かった。高齢者の方と話していると普段は気づかないことが多く非常に勉強になった。今回のスマホ講座を通して学んだことは私たちの目線と高齢者の方では物事に対する目線の違いなどを勉強するいい機会になった。さらにボランティアをしたい気持ちが高まった。本当にこのスマホ講座は非常に良い経験になりました。このような機会を設けてくださいありがとうございます。

●高1 B君

私は今回初めて「スマホ講座」のボランティアに参加しました。

そこでたくさんの事を学びました。スマホ講座に

参加前「どんな事を聞かれるのだろう?」

「ちゃんと高齢者の方に教える事が出来るのかな?」など不安でいっぱいでした。

しかし、実際高齢者の方に教えてみると案外スムーズに行き、自分に自信が持てました。

また、高齢者の方がとても喜んで下さり僕はとても嬉しかったです。

しかし、今回反省点もあります。それは、教える事が無くなった時に何をすればよいかわからない時間がたくさんあった事です!これからはあらかじめ高齢者からどのような事を聞かれるかや、教えておいた方が良い事を勉強してから行けるようにしようと思います。このような機会を作って下さり本当にありがとうございます。



1-3 高校生が発見・発信する芦屋の魅力

/あしや部

活動地域	芦屋市
協働団体	
事業の目的・趣旨	<p>芦屋市在住の高校生が、市や地域団体・企業と協働しながら、芦屋市の価値や魅力を高校生の視点で発見、発信していく。具体的には、市内の事業所の紹介、若者目線でのイベントの開催、市政への提言などを行なながら、魅力ある芦屋のまちづくりを行っていく。</p>
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> トミー洋裁学院で洋裁を知ろう！（2021年4月17日、於：トミー洋裁学院） 業平町にあるトミー洋裁学院で、学院長からトミー洋裁学院の歴史とともに日本における洋裁の歴史についてもうかがった。また、ロックミシンの使い方など、洋裁の基本について実習を交えて教えていただいた。 猫の譲渡会の取材（2021年6月13日、於：NPO法人福の音） 大原町で猫の譲渡会を月に1回程度実施されているNPO法人福の音を訪問し、捨て猫の問題などの社会問題について教えていただき、譲渡会の活動のやりがいや苦労について伺った。 東山公園に設置予定の巨大灯籠を作成！ (2021年7月18日・23日、於：東山公園) 東山町自治会の方から、自治会で行っている夏の灯篭づくりを手伝ってほしいと依頼があった。デザインや買い出し、制作を自治会の皆さんと行い、設置当日のお手伝いも行った。 子育てを体験して、まち・社会・家庭を考える (2021年7月23日、於：リードあしやとその周辺) 大人スタッフと中村市議会議員のご家族をお呼びして、抱っこ紐やベビーカーを使った子供との街歩きを通して、子育てを体験するイベントを企画、運営した。 戦争体験を次世代へ語り継ぐ、次世代が聞き継ぐ (2021年8月5日、於：リードあしや) 市内在住の宮本允子さん、叔母様が終戦で上海から引き揚げてこられた斎藤雅子さんを講師にお招きし、芦屋市での太平洋戦争の被災や海外からの引き揚げの様子について伺った。 フリーペーパー、表紙撮影（2021年8月5日、於：業平公園） フリーペーパー1号の表紙撮影もお願いした、芦屋市在住のフォトグラファーの荒川明日香さんに表紙の撮影を依頼した。 イタリアンレストラン・ボッテガブルーの取材（2021年8月5日、於：ボッテガブルー） 船戸町のイタリアンレストラン・ボッテガブルーを取材し、芦屋で出店した理由やグルテンフリーなど食材・調理へのこだわりについて伺った。 フリーペーパー“あしなび”第2号配布（2021年9月4日～） SNS等でフリーペーパーの設置を快諾いただいた市内の事業所（19か所）に高校生メンバーが手分けしてフリーペーパーの設置を行った。また、市内の3中学校（山手、精道、潮見）の中学校3年生への配布も行った。

- ・ **ミャンマーの貧困問題から平和について考える**
 (2021年10月3日、於：リードあしや)
 ミャンマーでソーシャルビジネスを行っている、ボーダレスファーム代表の川北奈央子さんを講師に、海外の貧困問題の現状とその解決に向けて実施している事業内容について教えていただいた。
 - ・ **地域活性化×福祉×デザインを体験する～ヤドリギ商店訪問～**
 (2021年10月9日、於：ヤドリギ商店)
 - ・ **菓子工房「ミスティルティン」訪問**
 (2021年10月18日、於：ミスティルティン)
 副業として、岩園町で菓子工房を、神戸市で商店を営んでおられる江藤恵美さんに、地域活性化と福祉とデザインを融合したビジネスモデルについて教えていただいた。
 - ・ **衆議院議員選挙 2021 兵庫7区候補者・候補者事務所訪問** (2021年10月23日)
 衆議院議員選挙で、芦屋市が含まれる兵庫7区の3人の候補者の事務所を訪問し、選挙への思いについて伺った。
 - ・ **オープンミーティング「ASHIYA SMILE BASE」市長との懇談**
 (2021年10月23日、於：ルナ・ホール)
 オープンミーティングに市民代表として2名のメンバーが登壇し、市長、副市長、教育長と意見交換を行った。
 - ・ **アロマの世界** (2021年11月7日、於：リードあしや)
 リードあしやなどでアロマテラピーの普及活動を行っておられるアロマシェアリストのかずみてつやさんをお招きし、本格的なアロマテラピーについて体験も交えながら教えていただいた。
 - ・ **紛争・災害の現場から考える「平和」の在り方**
 (2021年11月28日、於：リードあしや)
 Dialogue for People 代表の佐藤慧さんをお招きし、写真を交えながらイラクやシリアなど中東の紛争、ウィシュマンさんをめぐる入管施設の問題、クルド人問題、日本の自死・自殺者の多さ、東日本大震災でのご家族の死去について話題提供をしていただいた。イベントの後半では参加者が円になり、それぞれが思う平和について意見交換を行った。
 - ・ **ハスキー犬チョビの取材** (2021年12月29日)
 浜芦屋町でハスキー犬を飼われている八代さんご夫妻を訪問し、大型犬の飼い方やYouTubeでの動画配信についてお話を伺った。
 - ・ **芦屋市出身の前陸前高田副市長に復興の現場について話を聞こう**
 (2021年12月31日)
 佐藤さんのお話で出てきた東日本大震災の話を深めるため、芦屋市出身で岩手県陸前高田市の副市長を勤められた岡本雅之さんに、行政からみた震災復興の現状についてお話を伺った。
 - ・ **フリーペーパー“あしなび”第3号完成・配布** (2022年2月28日)
 SNS等でフリーペーパーの設置を快諾いただいた市内の事業所に高校生メンバーが手分けしてフリーペーパーの設置を行った。
- ※ファッションショーの開催については、新型コロナウイルス感染拡大を受け、見通しを持って計画を立てることが困難となり、実施はできなかった。

	年	月	日	活動場所	実施内容	参加人数	
						スタッフ	参加者
実施経過	3	4	3	リードあしや	ミーティング	2	4
		4	17	トミー洋裁学院	洋裁学校の取材	2	16
	5	5	オンライン	ミーティング	2	5	
	5	30	リードあしや	ミーティング	2	3	
	6	13	spaceくう	保護猫の取材	1	4	
	6	19	東山自治会長宅	東山町自治会と打ち合わせ	1	3	
	7	10	リードあしや	ミーティング	2	4	
	7	11	リードあしや	ミーティング	3	3	
	7	18	東山公園	夏イベント用の灯籠制作	1	12	
	7	23	東山公園	公園に灯籠の設置	1	9	
	7	23	リードあしや他	子育て体験イベント	3	9	
	8	5	リードあしや	戦争体験の聞き取り	2	7	
	8	5	業平公園	フリーペーパー表紙写真撮影	1	7	
	8	5	ボッテガブルー	飲食店の取材	1	8	
	9	4~	芦屋市内	フリーペーパーの配布	1	10	
	9	5	リードあしや	ミーティング	2	5	
	10	3	リードあしや	ミャンマーの貧困問題についての勉強会	2	7	
	10	9	ヤドリギ商店	ヤドリギ商店の取材	1	4	
	10	18	ミィスタイルティン	菓子工房ミィスタイルティンの取材	1	2	
	10	23	衆院選候補者事務所	2021衆議院議員選挙の取材	1	4	
	10	23	ルナ・ホール	オープンミーティングへの登壇	2	2	
	11	7	リードあしや	アロマ体験会	2	7	
	11	7	リードあしや	ミーティング	2	3	
	11	28	リードあしや	平和についての講演会	5	40	
	12	18	リードあしや	ミーティング	2	4	
	12	29	飼い主宅	ハスキー犬の取材	1	3	
	12	31	J R芦屋駅	陸前高田市復興の取材	1	3	
	4	1	16	リードあしや	ミーティング	2	3
	4	2	28	芦屋市内	フリーペーパーの配布	1	3
目標の達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・フリーペーパー ・発行回数 目標 2回 → 2回 ・ページ数 目標 16ページ → 第2号20ページ、第3号12頁 ・発行部数 目標 2,000部 → 2,000部×2回 ・配布先 目標 30件 → 延べ30件以上 ・ファッションショー ・新型コロナウイルスの感染拡大の状況を見ながら実施できるかを検討したが、感染拡大が一進一退を続ける中、実施することが難しいと判断し、中止とした。 						
	<ul style="list-style-type: none"> ・フリーペーパーの制作を通じて、芦屋の魅力を調査・発信するあしや部の活動に興味を示す高校生が増えた。結果として、メンバーが8名増えた。また、普段の活動に参加できなくても、イベントに参加したいという高校生も出てきた。 ・FacebookやInstagramでフリーペーパーを置いてもらえるお店を募ったところ、新規に置いていただけるお店が増え、市内でのつながりが広がった。多くの人に興味を持ってもらえるフリーペーパーを作ることができた。 ・主体的に高校生が活動していることを知ってもらう機会となった。そのため、一緒に活動してもらえないかという依頼もあった。 						
事業効果							

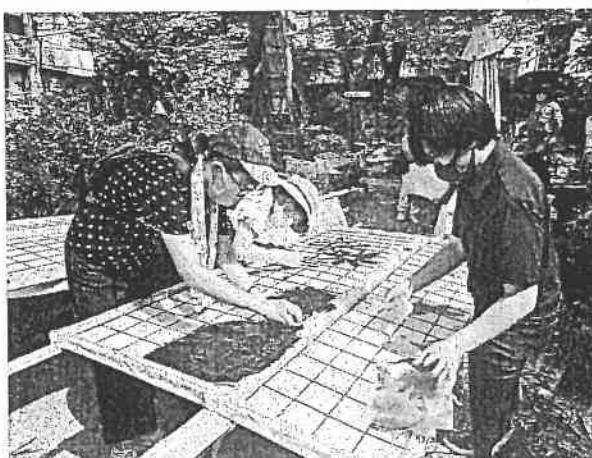
補助金交付
終了後の事
業展開、
今後の展望

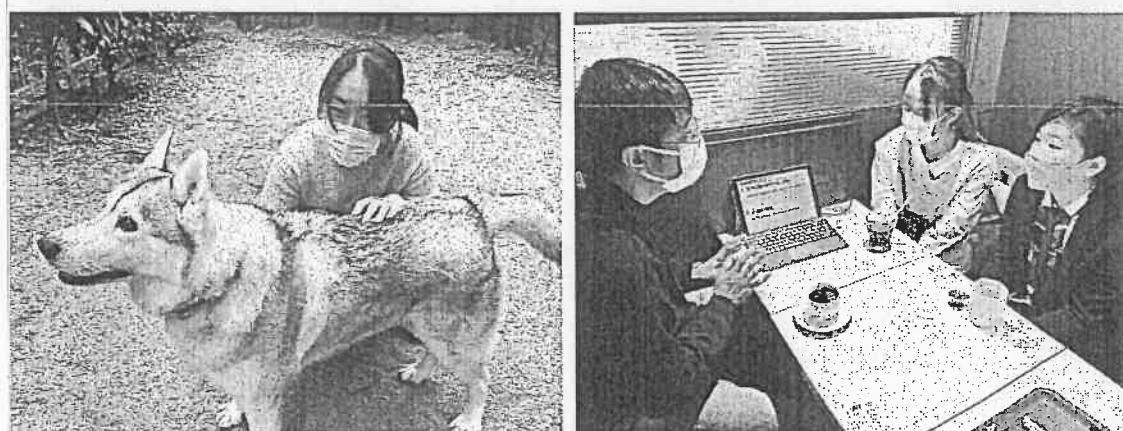
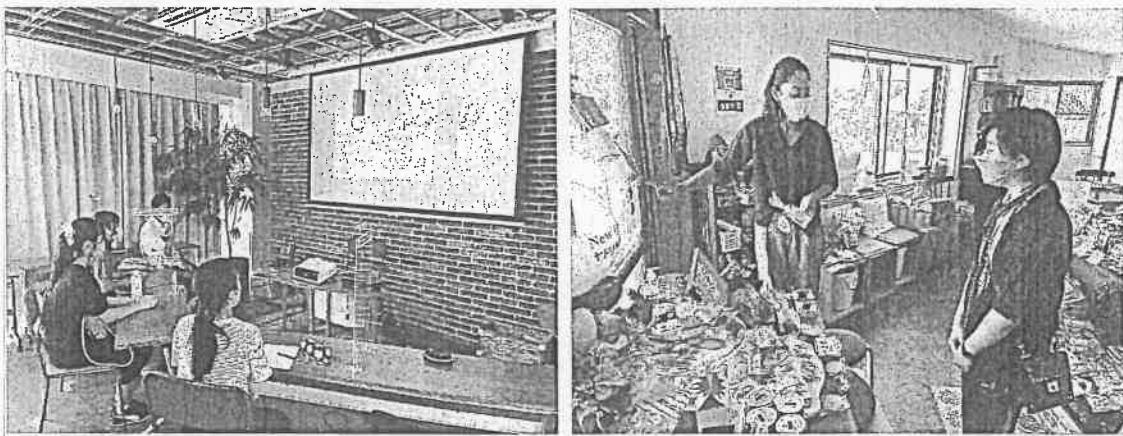
(次年度以降どのように事業を展開（継続）していくのかご記入ください。)

- ・フリーペーパーについては次年度も引き続き16頁を2回発行できるよう、取材先やイベントを検討していく。また、継続して発行していくよう、企業寄付などを募る活動を進めていきたい。
- ・私立高校に通う高校生メンバーが土曜日の授業があったり、長期休暇も補習が多くあったりしており、自由に活動できる日程が少ない。そのため、長期的な見通しをもってイベントの企画などがなかなか進まない現状がある。年間計画を立て、計画的に団体運営をしながら、充実したフリーペーパーづくりやイベント運営をしていきたい。

(添付書類)

事業実施状況を示す写真、チラシ等





あくなび

芦屋市在住

高校生が見つけた芦屋の魅力！

2021 SPRING

あしや

あくなび

芦屋市在住

高校生が見つけた芦屋の魅力！

2022 SPRING

あしや

2-1 第10回武庫之荘駅前ロータリー祭り

／武庫之荘水と緑のまちづくりプロジェクト実行委員会

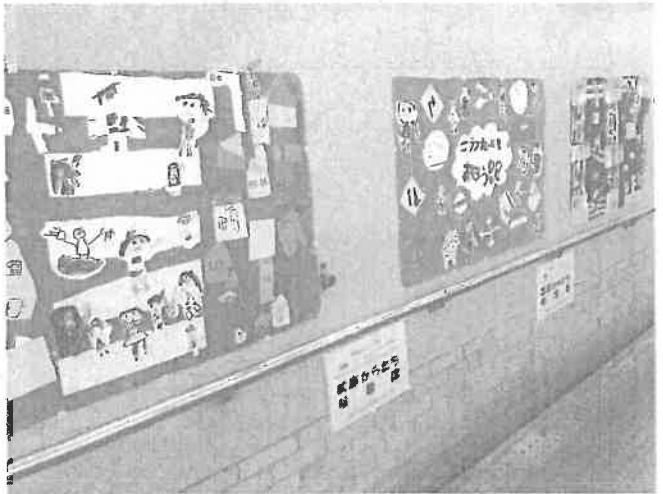
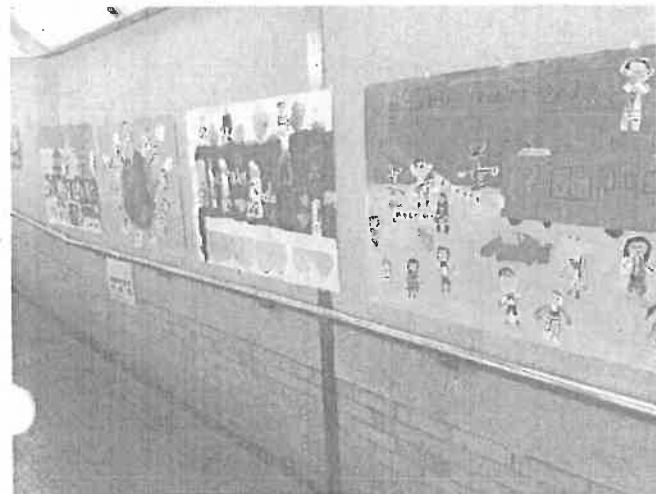
活動地域	尼崎市
協働団体	(後援：尼崎市、尼崎市教育委員会)
事業の目的・趣旨	<p>第10回駅前ロータリー祭りは、新型コロナウイルス感染症の沈静化が条件であるが、地元の小中高校生の吹奏楽やバトンの出場、地元事業所のグルメ店の出店、市民参加のフリーマーケットの開催等々、武庫之荘の魅力を伝える催しにしたい。</p> <p>一昨年に続き、障害者団体・介護事業所などに祭りに主体的に担っていただき、障害者・高齢者が利用しやすい環境づくりをめざしたい。（ユニバーサル社会）</p> <p>市民の寄付による駅前昭和歴史遺産保全運動の一環として、南口のゴンドラ噴水のリニューアルにつなげて、街の歴史・魅力として若い世代・住民に伝えていきたい。</p> <p>同時に、放置自転車では最後の課題として残っている駅北の駅前事業所等の利用者用の一時駐輪場の設置を目指したい。</p> <p>「駅前ロータリー祭り」の継続開催を通じて、地域コミュニケーションの再生と駅前の環境改善と賑わいのあるまちづくりをめざしたい</p>
事業内容	<p>1. 第10回・武庫之荘駅前ロータリー祭り</p> <p>※コロナ禍のために地下道ギャラリーだけの縮小開催となった。</p> <p>【第1次】</p> <p>とき：2021年11月26日（金）～12月3日（金）</p> <p>ところ：阪急武庫之荘駅前北側・南側ロータリー</p> <p>【第2次】</p> <p>とき：2021年12月3日（金）～12月10日（金）</p> <p>ところ：コーポ武庫之荘</p> <p>2. 中村百合子氏「ゴンドラ」のリフォーム</p> <p>設置されて以来メンテナンスされておらず、タイルは剥落し、鉄筋がむき出しの状態である。ロータリー祭りの開催に合わせ、寄付金を募集して、リフォームと作品紹介の案内板設置を実現したいと予定していたが、コロナ禍の中でロータリー祭りは地下道ギャラリーだけの縮小開催となったことと、地元事業者の寄付金を原資として予定していたが、コロナ禍で休業も多く、来年度に延長した。</p> <p>3. 自転車マナー キャンペーン</p> <p>コロナ禍で駅前の事業者の協力が得られず、中止をしていたが、10月13日から再開した。その後、1月に入りオミクロン株の感染拡大で事業者の協力が得ることが出来なくなった。</p> <p>とき：2021年11月から2022年1月（毎月第2水曜日）</p> <p>ところ：武庫之荘地区およびその周辺</p>

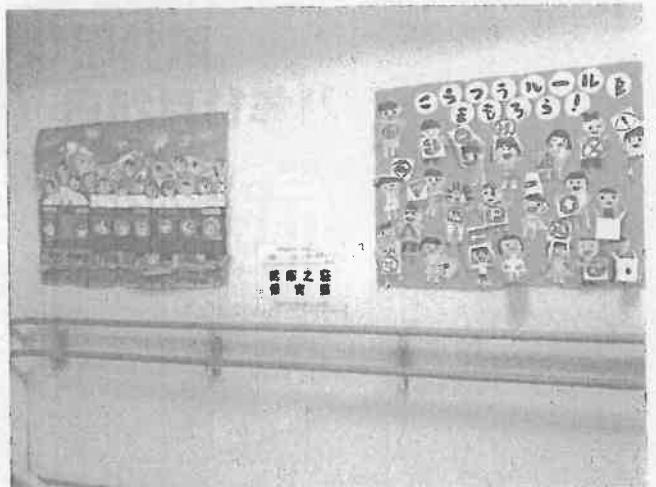
	対象：一般市民 方法：チラシ入りティッシュの配布、放置自転車へのタグ付け
4.	水路清掃 とき：2021年5月から2022年1月（毎月第2土曜日） ところ：武庫之荘駅北水路
5.	駅前清掃 第5波の新型コロナウイルスの感染が沈静化したことから、11月24日第4水曜日から再開し、12月22日と行った
6.	一時駐輪場の設置 駅前事業所用の一時駐輪場の設置は、前年に尼崎市と金融機関との話し合いが行われたが、採算面や責任の所在でまとまらず実現が出来なかつたことから、新たな一時駐輪場の設置は見通せない中、新たな方策を検討中である。

事業経過	年	月	日	場所	実施内容	参加人数	
						スタッフ	参加者
	3	7	20	西富松会館	第76回実行委員会	11名	
	3	11 ～12	26 10	駅地下道 コーポ武庫之荘	地下道園児ギャラリー展開催 コーポ武庫之荘の展示場で追加の展覧会を実施した	10名 8名	多数
	3 ～4	4 ～1	10 8	武庫之荘駅前 周辺水路	水路清掃 毎月第2土曜日	5～8名	不明
	3	11 ～1	10 13	武庫之荘駅北側	自転車マナークランペーン	10～20名	15名
	3	11 ～12	24 22	武庫之荘駅北側 毎月第4水曜日	駅前清掃	6～8名	3名
目標の達成状況					<ul style="list-style-type: none"> 地下道園児ギャラリーは、作品作製関係者と地下道利用者となり、人数把握は困難であるが、多数の方にご覧いただけた。 出店団体は周辺幼稚園・保育所の8団体に参加いただけた。 コーポ武庫之荘のご厚意により、地下道での展示以降6団体の絵画を展示了。 水路清掃については月1回定期的に行い、ごみのない水路を保っている。また、同時に、市の河港課より借りている泥上げ敷の緑化の手入れも行い、季節の草花の保全にも努めている。 新型コロナの影響で自転車マナークランペーンと駅前清掃は中止していたが、11月より再開した。 		

事業効果	<ul style="list-style-type: none"> 地下道園児ギャラリーの作品テーマは、交通安全としていて、例年、創意工夫された力作が展示され交通マナーの向上につながったと思う。また子どもたちの絵画が、通路に展示されることにより、温もりのある空間となった。 水路清掃については、行政だけでは年間2～3回しか水路清掃ができておらず、ごみや空き缶が散乱するが、月1回の清掃であるがきれいな水路が保たれ地域の方に喜んでいただいている。また、緑化により季節の草花が目を和ましてくれ、周辺の人も楽しんでいる。 自転車マナーキャンペーンはシルバー人材センターと尼信、みなと銀行のご協力が復活し、チラシ配布もシルバー人材センターのご協力でティッシュと合わせての配布で受け取りが良い。 駅前清掃は、池田泉州銀行のご協力で行っているが、たばこのポイ捨ては相変わらずで改善がなかなか見られない。
補助金交付終了後の事業展開、今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> 昨年度に続き、今年度も新型コロナ禍感染防止の観点から、例年的小中高生の演奏やパレード等を中止せざるを得なかった。イベントは大幅に縮小し、地下道園児ギャラリーの見の開催となつたが、2022年度は例年通りの催しにしたい。 中村百合子氏「ゴンドラ」のリフォームについては、武庫地域センターと事務折衝は進んでいるが、コロナの影響で思うようには進展していない。2022年はロータリー祭りも10周年を迎えるので、何とかリフォームを行いたい。 自転車の一時駐輪場の設置は、駅前金融機関との協議が成立できず、設置が困難となっているが、新たな方策を検討中である。

第10回ロータリー祭り
2021年11月26日（金）～12月3日（金）
阪急武庫之荘地下道





第10回ロータリー祭り
2021年12月3日（金）～12月10日（金）
コープ武庫之荘

コロナ感染対策を守りましょう!

10th

武庫之荘駅前ロータリーフェスティバル

令和3年11月26日(金)~12月3日(金)
13:00より 18:00まで

場所／阪急・武庫之荘駅 南北地下道



南北地下道園児ギャラリー

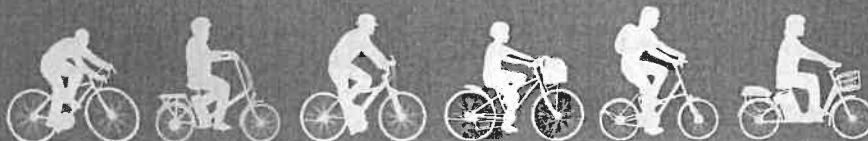
乗り物と交通安全絵画展

みこころ幼稚園・武庫之荘幼稚園・武庫之荘保育園・武庫まつのみ保育園
武庫東からたち幼稚園・武庫南保育所・武庫東保育所・武庫からたち幼稚園

水と緑と
希望のまち、
武庫之荘!!

- 「第10回・駅前ロータリーフェスティバル」は、新型コロナウイルス感染拡大情勢から住民の健康と安心・安全を第一に考慮して、昨年同様に「南北地下道園児ギャラリー」のみを実施します。恒例のパレードやステージ演奏、子ども広場、歩行者天国などのイベントは、残念ながら自粛中止とさせていただきます。
- 「乗り物と交通安全絵画展」の一部作品は、12月3日(金)16:00から12月10日(金)13:00まで、「ヨープ武庫之荘」にて移動展示されます。

（この事業は、令和3年度 兵庫県 水神産ふるさとづくり支援事業の補助金を受けています）



高齢者や障害者にも優しい、
自転車の利用しやすいまち、武庫之荘!!
マナー向上が光る駅前広場!!

（主催）
編集・発行

武庫之荘 水と緑のまちづくりプロジェクト実行委員会

HP <http://muko-mizupro.net/>
Facebook <https://www.facebook.com/mizu.mukonoso>

連絡先（事務局）/〒661-0032 尼崎市武庫之荘東1-28-1 TEL.06-4962-5551 FAX.06-4950-6691

武庫之荘 水と緑のまちづくりプロジェクト



通信
第18号

駅前ロータリーを舞台に、人と街が輝くまちづくり 北口ロータリーの改修工事完了を祝して

武庫之荘水と緑のまちづくりプロジェクト実行委員会
事務局長 つづき 徳昭



毎年11月に開催してきた「武庫之荘駅前ロータリー祭り」は今年で10回を迎える。しかし、新型コロナウィルスの感染拡大で、諸々イベントは大幅に縮小せざるを得ず、昨年同様に「地下道園児ギャラリー」だけの開催となった。地域コミュニティの醸成はロータリー祭りの目的の一つであるが、感染症の広がりは世界的な暮らし方の変化をもたらしており、マスク着用や3密回避は当面続けざるを得ない。

所で駅前の環境改善については、駅前北側は人、車、自転車などが輻輳して危険な状態で、その改善は長年の課題であった。しかし本年正月着工のロータリー改良工事は5月に終わり、障害者・高齢者が利用しやすい対策も講じられ、歩道が広くなり安心安全なロータリーとなった。中央には、地域の皆さんのご協力で一昨年にリニューアルされた地元の陶芸家・奈良青雲氏によって製作された白い「希望像」が輝いている。次の課題は、駅南のゴンドラ型噴水の改修です。タイルははげ落ち、鉄筋のサビもむき出し状態で痛みが激しくなっているので、先行して取り組まれている方々とも連携し、武庫之荘の玄関口にふさわしいものにリニューアルしたいものです。

来年の「第11回ロータリー祭り」は、恒例のイベントを復活させ、地域の人が楽しく交流出来る行事となる様心から願っています。

老朽化が目立つ、南口ロータリーのゴンドラ型噴水

尼崎市武庫地域振興センター
所長 立石 孝裕



阪急武庫之荘駅・南側改札を出て、バスロータリーの中にある噴水をご存知ですか?イタリアのゴンドラに似た形をしています。この噴水の歴史を紐解くと、1937(昭和12)年に武庫之荘駅が開設したにも関わらず、1970(昭和45)年に駅の南口改札が整備され、翌1971(昭和46)年7月に噴水が完成しました。武庫地区に古くからお住まいの方に伺うと、当時、武庫之荘駅の南側には広大な田園風景が広がっていたそうです。

この噴水をデザインしたのは現在の武庫東生涯学習プラザの傍にお住まいだった「世界を旅する画家」の故中村百合子さん。イタリアのスペイン広場で見たゴンドラをイメージ化したデザインを元に、市が製作しました。

そのゴンドラ型噴水も建設後50年を経て老朽化が目立つようになってきました。タイルが剥がれている箇所があったり、亀裂がはいていたり。噴水を含む駅前ロータリーの清掃活動をしている方がたくさんいる中で、2011(平成23)年に阪急武庫之荘駅周辺の飲食店を飲み歩く「武庫之荘バル」が行われ、その実行委員会の皆さんのが母体となり、ゴンドラ型噴水の修復を目指して募金活動などが始まっています。

噴水修復に関心のある方は尼崎市武庫地域課(06-6431-7884)までご連絡ください。

(参考・出典:あまがさきアーカイブ)

噴水のある駅前広場

阪急武庫之荘駅南口に
うなづかせる噴水を見ると、ホッとします。
このほど噴水塗装が完成、涼
爽天下を演出する噴水コ
ーナーの中心に駆けのバイ
キンク船を形どり、カラ
ーのマストから水が噴出
するようになっており、午前七
時から午後九時までの間
自動的に一定時間おき噴
水するようセットされています。
また、南口広場は約六千
平方㍍あら噴水設備につ
いて、さらに植樹をしま
す。来年の夏には、涼しい木
影も楽しんでいただけるこ
とを願います。

社時限 武 北 部く政

昭和46年7月20日付発行「市報あまがさき」より



2-2 第19回契沖顕彰短歌大会／契沖の会

活動地域	尼崎市
協働団体	園田学園女子大学
事業の目的・趣旨	<p>今年で19回目を迎える「契沖顕彰短歌大会」は、会員を含む一般社会人だけではなく、小学生、中学生、高校生、大学生からも短歌作品を募集している。</p> <p>今年は、新たに阪神間の高校に応募を呼びかけた。</p> <p>児童・生徒・大学生にも応募を呼びかけるのは、短歌を創作することにより語彙力・表現力を磨くことができ、日本の伝統文化への興味や再認識にもつながり、教育効果は高いと考えるからである。</p> <p>兵庫県だけでなく全国から広く作品募集を行うことにより、契沖という人物、および和歌集などによる契沖の国学研究の功績・認知を広めることができ、ひいては、契沖誕生の地である「短歌の街・尼崎市」のアピールにもなると考えている。</p>
事業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 募集要項作成、告知開始（7月～） <ul style="list-style-type: none"> ・会員、昨年以前に応募があった個人へ告知（約200名）、短歌の先生方へ応募依頼。 ・さらに市内12か所の生涯学習者プラザ、尼崎ロータリークラブ、プロバスクラブ、尼崎文化協会、他短歌会などにも短歌大会の募集要項を配布し、短歌の応募活動に協力していただいた。 ・園田学園女子大学内でも応募要項を設置し、学生のみならず生涯学習受講者にも応募を呼び掛けた。 ・ホームページ再構築、また短歌誌に応募要項を掲載し広く募集する。 2. 勉強会の開催は、コロナ禍ではあったが、7月24日、10月23日の2回開催した。 3. 応募締め切り（9月30日）、第一次選考（11月4日） <ul style="list-style-type: none"> ・一般→選者による選考 ・児童、生徒→教員による選考 ・大学生→契沖の会会长による選考 4. 第二次選考（12月4日） <ul style="list-style-type: none"> ・一般、児童、生徒、大学生→選者（7名）により選考し、受賞者（特別賞、契沖賞、山の井賞）を決定。 5. 大会の実施有無についての役員会を1月15日実施（小田南学習プラザにて）。 <p>残念ながら第19回の短歌大会の表彰式は中止とした。</p> 6. 受賞者連絡、賞状・楯・「詠草集」など作成（2月下旬） 7. 短歌大会（2月19日開催予定であったが、まん延防止措置より中止） 8. 賞状・楯・「詠草集」の発送（3月7日）

	年	月	日	場所	実施内容	参加人数	
						スタッフ	参加者
事業経過	3	7	7	尼崎市立中央中学校	応募要領を中学校長会で説明、配布	2	30
	3	7	9	尼崎市教育総合センター	応募要領を小学校長会で説明、配布	2	42
	3	10	15	尼崎市教育総合センター	小中高第1次選考に関する説明	1	8
	3	12	4	尼崎市小田北生涯学習プラザ	短歌大会選者会(第2次選考)	3	10
	4	1	15	尼崎市小田北生涯学習プラザ	短歌大会の中止決定	3	8
	4	2	25	園田学園女子大学	「詠草集」印刷所より納品 (編集作業:令和3年12月~)	2	2
	4	3	4	尼崎市小田南生涯学習プラザ	賞状、盾、「詠草集」発送作業	2	8
目標の達成状況					<p>初めに掲げていた「応募総数12,000首以上」はコロナ禍にもかかわらず、12,572首でわずかに微増であった。</p> <p>一般の部、児童・生徒の部ともに昨年よりも人数・歌数ともに微増した。その結果、応募料の収益は昨年より微増したことになった。</p> <p>しかしながら、一般の部の短歌作品については、関東・中部地方からの応募があり、少しづつではあるが、新しい地域からの応募も増えてきたといえる。また、阪神間の高等学校に応募用紙を送り、応募を勧めたところ、県立伊丹北高等学校、県立武庫之荘総合高校2校からの初参加もあった。昨年から大学生の部を新たに作ったことにより、十代後半から二十歳代からの応募があったことは、年代に広がりが生まれて作品にも新鮮さが加わることになった。</p> <p>さらにホームページの充実もあり、今度の活動においてはさらに全国的に周知されて、ますます期待できる結果につながると予想される。</p>		
					<p>応募者数：12,304名、12,572首</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般の部 (1人5首まで応募可能) 80名 (209首) ・児童・生徒の部 (1人1首) <ul style="list-style-type: none"> 小学生 9,051名 中学生 2,611名 高校生 468名 ・大学生の部 (1人3首まで可能) 94名 (233首) 		

事業効果	<p>今年の短歌大会も、応募に対するモチベーションを上げる目的で、「契沖大賞」だけではなく、知事賞、教育長賞など多くの賞を設定することができた。</p> <p>事務局を大学内に置くことによって、より学術的になり、多くの学生・生涯学習受講者へのアピールにつなげた。</p> <p>大学生の応募を推進した結果 94名 233首の応募があった。今年はコロナ禍の中、全体的には応募は若干微増した。また、一般応募も中部、関東地方からの応募もあった。</p> <p>大会授賞式の中止より、応募者の方々は直接対面で選者の講評を聞くことはできなかつたが、その代わりに「詠草集」に7名の選者による優秀作品の講評を載せることができたことは、今後の作歌の大きな参考になったと考える。</p>
補助金交付 終了後の事業展開、今後の展望	<p>本年は「契沖の会」を紙媒体以外でもアピールすべく、ホームページなどを利用して短歌大会や普段の活動のPRにつなげたが、今後もホームページの充実、SNSの活用により、応募拡大となるよう努めたい。また、阪神間の高校に応募の情宣を強化し、参加校の増加に努めたい。</p>

第十九回 契沖顕彰短歌大会

詠草集

(前会長 故吉原栄徳氏ご家族より寄贈)

契沖全集



と き　令和4年2月19日（土）
午後1時より

と こ ろ　尼崎市立中央北生涯学習プラザ
3階 小ホール

※大会は、新型コロナウイルス感染拡大により中止となりました。

主 催　契沖の会
後 援　学校法人園田学園
兵庫県・県議会
尼崎市・市議会
兵庫県教育委員会
尼崎市教育委員会
兵庫県阪神南県民センター
(公財)兵庫県芸術文化協会
(公財)尼崎市文化振興財団
尼崎信用金庫
尼崎文化協会
尼崎ロータリークラブ
関西大学校友会
各新聞社・その他

第18回
契沖顕彰短歌大会
品作秀優
(2020年度実施)

けしこはあたまがへつてかなしそうでもけしこはがんばつて
尼崎市立金樂寺小学校2年 高橋 梨

新品のノートを買ったあの春は割と真面目は少年だった
尼崎市立大庄北中学校2年 毛井 悠貴

葬局のマスクの棚の空白に不安がいっぱい溜まつて
園田学園女子大学2年 上本 琴未

もう少しきみのこころに触れたきをたがいちかいにフランコ搖るる
神奈川県小田原市 大森 浩子

契沖もこの高野路を訪はれしか山路歩みつつその影を追ふ
和歌山県橋本市 相田 昌子

契沖顕彰の会
入会についてのご案内

契沖の会では、新規会員を募集しております。

ぜひご参加ください。

●会の目的

契沖の功績を学びつつ短歌を楽しみ、また尼崎の文化・教育のさらなる発展や深化に寄与していく会です。

入会の条件はありませんが、互いを尊重し、学習意欲のある方を歓迎します。

●活動内容・会費等

定期的に歌会・勉強会を実施しています。
年会費として2,000円申し受けます。

●申し込み

以下問い合わせ先までご連絡ください。
お申込み用紙をお送りいたします。

◆問い合わせ先 園田学園女子大学(川上研究室)

TEL&FAX 06-6429-9285

契沖の会

第19回

契沖顕彰短歌大会

品作要項
短歌集 契

本短歌大会は、江戸時代に尼崎で生まれた国学者「契沖」の顕彰と、地域文化の振興を目的とした短歌大会です。応募規定をご覧になつて、奮つてご応募ください。

2-3 コロナに負けない！「空手を核とした多世代・多種目交流会2021」

／道愼館

活動地域	尼崎市、神戸市、姫路市、(ライブ中継を通じてニュージーランド)
協働団体	糸東流修交会空手道連合
事業の目的・趣旨	<p>空手に限らずスポーツでは、「試合」「練習」といった、競技関係者のみの旧態依然とした交流に限られている。しかしながら、近年、スポーツ団体に求められる、地域と連携した青少年の健全育成やパワハラ対策、コロナ感染症予防対策には、法的あるいは行政指導、科学的知見を踏まえた「ノウハウの共有、実践」が重要となってきている。また、道場の枠を越えた、地域団体の連携により、かつてのような子どもを通じた地域社会との交流・連携を取り戻したい。</p> <p>そこで、昨年度の交流イベントの実績・ノウハウのある当館が核となり、毎年、協議の枠を越えた地域のスポーツ団体等との連携を深め、タイムリーな課題について優良事例の共有・実践的伝承を継続実施することで、地域の連携を深めるほか、少年スポーツ指導にかかる「最先端の知見」の発信・交流拠点として、尼崎における交流人口を増やし、地域の再活性化を図りたい。</p>
事業内容	<p>Facebook、ポスター、口コミ等により、広く世界取り組みを周知することにより、国内外の空手関係者のみならず、同じ体育館・グランドを利用している他の競技・地域団体関係者、一般市民等、広範囲・多数の交流を図る。</p> <p>1 コロナに負けない！「多文化発信交流事業」の開催 舞踏の会、ダンスクラブ、軽音楽クラブ等、同じ体育館を利用する団体と相互発表による交流を進めるとともに、舞踏の会の高齢者の指導を受け、地域の伝統料理や駄菓子屋さんを再現し、3世代の地域住民交流を行った。</p> <p>2 コロナに負けない！「空手等交流大会」の実施 道愼館の本務でない剣道や柔道の講師から、地域の子ども達を含めて講義、指導をいただき、体験を行った。コロナ感染防止対策の智恵を持ち寄り、万全の対策を講じた中で、空手に関しては、小中学生を対象とする試合形式の指導実践やオープン参加の市民への体験指導を行うことにより、「尼崎」での武道等を通じた多地域・多世代間交流を図った。</p> <p>これらについては、Facebook ライブを通じてニュージーランドや神戸、姫路の空手団体ともリアルタイムで共有したほか、地域住民も含め、広範囲・多数の交流を図った。</p>

	年	月	日	場所	実施内容	参加人数	
						スタッフ	参加者
事業経過	3	11	28	尼崎大庄地区	大庄広場にポスターを掲示する とともに、周辺住宅にチラシを ポスティング	10	
	3	12	26	大庄おもしろ 広場	1 コロナに負けない！「多文化 発信交流事業」の開催 2 コロナに負けない！「空手等 交流大会」の実施	5	48
						11	64 (講)
目標の 達成状況					1 コロナに負けない！「多文化発信交流事業」の開催 53人 2 コロナに負けない！「空手等交流大会」の実施 75人		
事業効果					一定のコミュニティ・人数から構成される子ども団体や老人グループ、地域団体が タイムリーなテーマで「多分野・多世代交流イベント」を継続に実施することで、多 くの関係者が期待する「地域住民の繋がり」や「継続的な社会貢献活動」の核を生み 出すことが出来、地域コミュニティの復活と、その発信による成功事例の発信や波及 が得られる。		
補助金交付 終了後の事 業展開、今 後の展望					参加者からの好反応に加え、国内外からの参加表明があったことから、今年度は海 外からの参加も企画したものの、海外を含めたコロナの収束が見込めず、オンライン での参加に終わった。今後とも、このイベントを機に交流が広がった。日舞や他武道 等、日本文化を象徴する団体との連携により、海外に日本・尼崎の文化を発信する。		

事 業 概 要

1 事業名：コロナに負けない！「空手を核とした多世代・多種目交流会 2021」

2 事業主体団体：道慎館

3 日 時：令和3年12月26日（日）9時～17時

4 参加者：延べ138人

5 事業概要：

今年度は、ニュージーランド等、海外の道場生も来日する予定としていたが、コロナによる入出国規制もあり実現しなかったことから、facebook ライブによるリアルタイム交流を図ったほか、facebook により世界に発信した。

(1) コロナに負けない！「多文化発信交流事業」の開催

おもしろ広場を拠点とする「舞踊の会」、「ダンスクラブ」、「軽音楽クラブ」と相互発表による、世代間交流が図れた。また、高齢者の指導を受け、親世代が地域の伝統料理を調理し子供たちに振る舞ったほか、昔の駄菓子屋さんを再現することにより、3世代の地域住民交流がなされた。



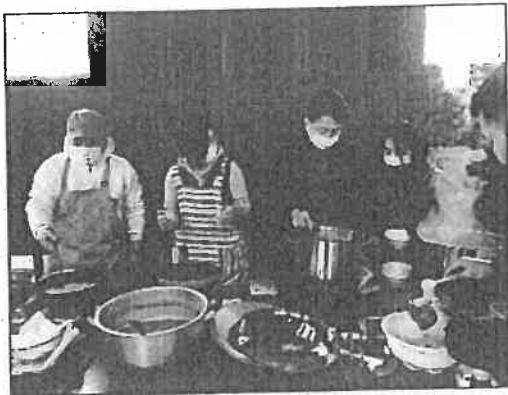
(舞踊の会による日舞、指導)

(ダンスクラブの披露)

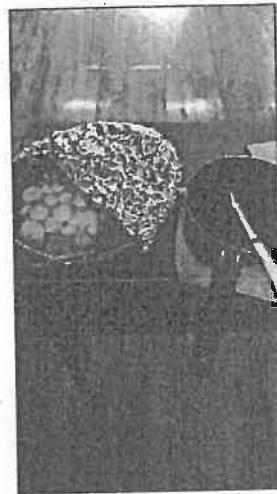


(軽音楽クラブ・合唱)

(伝統料理調理)



(世代間交流)



(駄菓子屋さん)

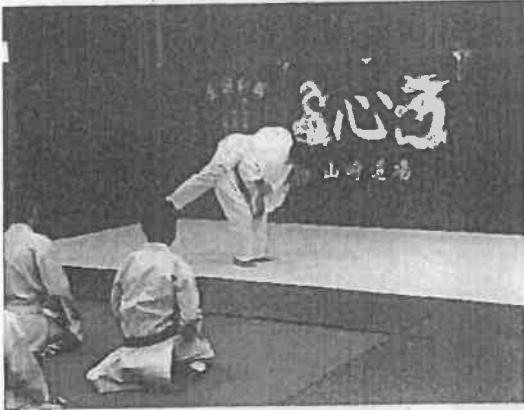
(2) コロナに負けない！「空手等交流大会」の実施

今年度は、委員長の指導もあり、空手のみならず、剣道、柔道、少林寺拳法の指導者から技術指導と感染防止対策の知恵をもらう予定であったが、少林寺拳法の講師が所属元のコロナ規制で参加が出来ず、剣道、空手との交流を行った。

さらに、小中学生を対象とする試合形式の指導実践やオープン参加の市民への体験指導を行うことにより、「尼崎」での武道等を通じた多地域・多世代間交流を図った。



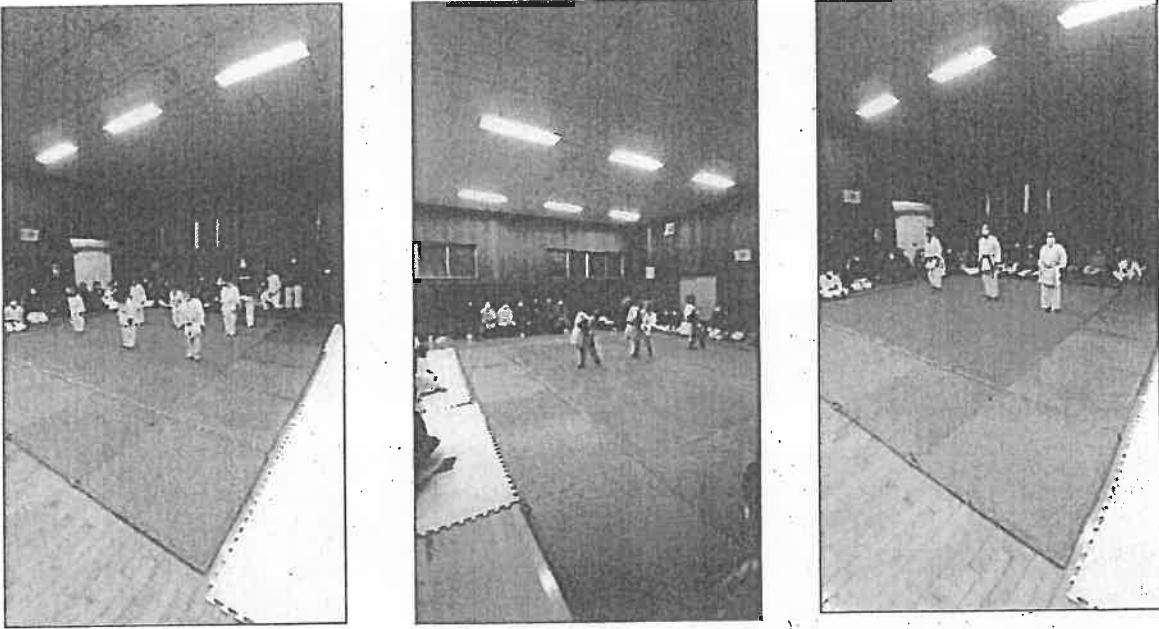
(剣道指導・体験)



(柔道指導・体験)



(空手組み手、指導・試合)



(3) 道慎館 FACEBOOK を通じた世界発信

FACEBOOKを通じて、ジンバルカメラを活用した個人追隨ライブ配信と、試合の模様、地域団体との交流を発信たところ、大阪や神戸、姫路、ニュージーランドの団体から視聴の感想がよせられたほか、ニュージーランドの団体からは来年こそは参加したいとの表明があった。



(ライブ配信)

(世界発信)

6 成果と反響

(1) 近い将来、世界からの参加による交流の拡大

国内外の空手団体から次回の事業への参加の表明、問い合わせがあり、来年度は規模の大きな会場を確保し、世界大会としての実施を計画予定

(2) 地域の世代間、他競技との交流の創出

普段交わることの少ない、高齢者や他競技の指導者、保護者、選手の交流がうまれた

(3) 今後の交流活動の継続、地域の活性化

今後、それぞれの団体がイベントを行う際には、相互に参加することとなり、継続的な交流の輪がつながった

2-5 三世代交流「クリスマスパーティ」及び「もちつき大会」による地域活性化事業

／武庫第6コミュニティ委員会

活動地域	尼崎市
協働団体	
事業の目的・趣旨	子どもからお年寄りまでが集い、語り合える空間を提供し、世代間の絆を深める。
事業内容	<p>パークタウン西武庫団地の広場、通路にイルミネーションを設置し、集会所において「クリスマス工作教室」を実施するとともに、「もちつき大会」を実施した。</p> <p>1. クリスマス親子工作教室の実施 パークタウン西武庫団地の集会所において、講師を招き、24組の親子によるクリスマスリースづくり工作教室を実施するとともに、お年寄りとの交流を図った。</p> <p>2. 同時イベント 子どもやお年寄りが集い、語り合える空間を提供して、世代間の絆を深める。 ・兵庫県のマスコット「はばタン」、尼崎市のマスコット「あまっこ」「あまりん」、あまがさきエコクラブ「エコあま君」の4体のぬいぐるみを借りて盛り上げるとともに、約200人の地域住民がポテトフライを食べたり、少林寺拳法の演武を見学したりした。 ・また、缶バッジづくり、バルーンアートを楽しみながら交流した。</p> <p>3. クリスマスイルミネーションの飾り付けの実施 子どもたちが作ったイルミネーションや購入した飾りを用いて、地域の住民が一緒になってパークタウン西武庫団地の通路に飾り付けを行った。</p> <p>4. もちつき大会の実施 パークタウン西武庫団地の広場で、地域の子どもやお父さん、お母さん、お年寄りが集まり、ボーイスカウトや老人ホームの職員などの協力を得ながら、もちつき大会を実施した。</p>

	年	月	日	場所	実施内容	参加人数	
						スタッフ	参加者
事業経過	3	10	1	パークタウン 西武庫	役員会（事業計画の検討）の開催	5	
	3	11	10	〃	実行委員会の開催	10	
	3	12	1	〃	準備	10	
	3	12	4	〃	クリスマスイルミネーションの飾り付け	15	
	3	12	11	〃	クリスマス親子工作教室	15	200
	3	12	26	〃	もちつき大会	30	100
	3	12	27	〃	後片付け	20	
目標の達成状況	<p>親子工作教室では当初 15 組と計画したが、24 組以上の申し込みがあり、若い親子と地域のお年寄りとの楽しい交流が図られた。また、広場ではゆるキャラを通して、多くの住民が楽しい会話を交わし、交流を図った。</p> <p>これにより、当初目標としていた三世代の交流を図ることができた。</p>						
事業効果	<p>事業を通じて近隣の若い親子とお年寄りのつながりが生まれ、知り合いになることによって、隣同士、近所同士の助け合いの基盤ができた。このことによって地域への愛着が生まれ、高齢になっても安心して生活ができる場とすることができた。</p>						
補助金交付終了後の事業展開、今後の展望	<p>同様の事業を継続的に実施することにより、地域の住民のつながりが深まるとともに、今後若い住民にもスタッフとして活躍いただき、若い住民とお年寄りの交流が深まっていければと考える。</p>						

親子工作教室



ゆるキャラ



少林寺拳法



缶バッジ・ポテトフライ・バルーンアート



クリスマスイルミネーション



もちつき大会



2-6 地域で楽しく繋がる防災

/おとの探検隊

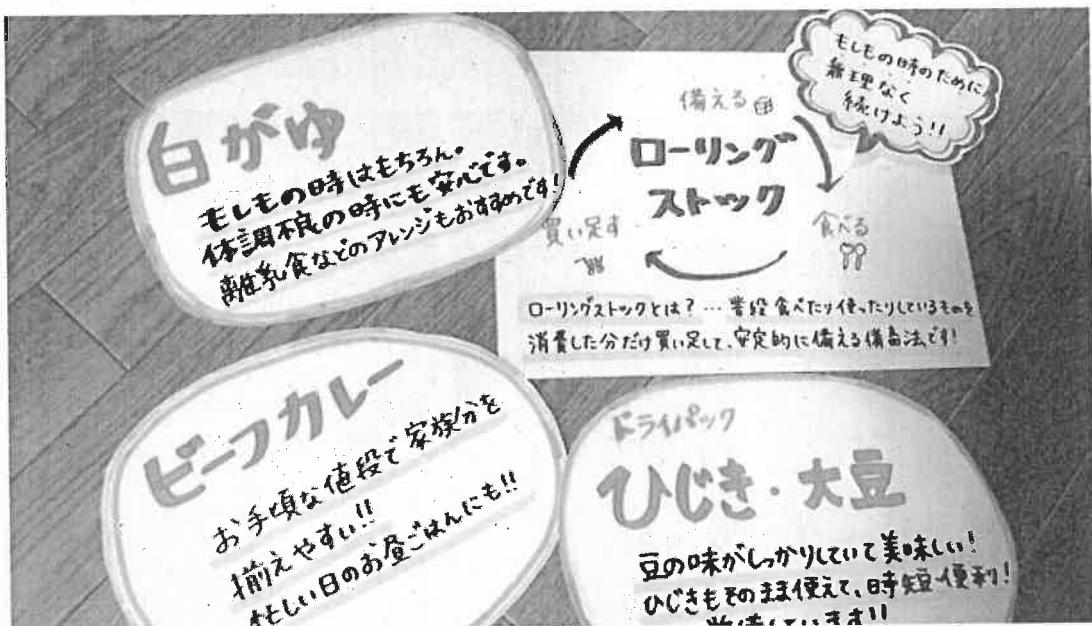
活動地域	尼崎市
協働団体	阪神医療生協
事業の目的・趣旨	<p>【自助】楽しく学ぶイベントで防災の知識を学ぶ、体験する。</p> <p>【共助】イベントの運営、実施を通して地域の繋がりを作る。</p>
事業内容	<p>☆【6月7日】救急救命講習Ⅲ 対象：幼児～小学生の保護者 ・家族や地域住民の有事の際に、適切な対処が出来るように学ぶ。</p> <p>◎【7月31日】デイキャンプ 対象：小園小中学校校区、児童及び保護者と校区内地域住民、事業者 ・川の水でもできる、パッククッキング ・非常食の食べ比べ ・避難所想定レクレーション コミュニケーションゲーム</p> <p>☆【1月15日】シェイクアウト訓練 クロスロードゲーム 対象：小園小中学校校区、児童及び保護者と校区内地域住民、事業者 ・コープ近松店内にてシェイクアウト訓練 ・プラスワン学習</p> <p>◎中止【2月中】まち歩き探検 対象：小園小中学校校区、児童及び保護者と校区内地域住民、事業者 ・校区内で災害時を想像しながら防災散歩 危険になりうる場所を探す</p> <p>◎中止【3月中】マップ作り 対象：小園小中学校校区、児童及び保護者と校区内地域住民、事業者 ・まち歩き探検の危険箇所をマップに落とし込む ・避難ルートを見つける。</p>

	年	月	日	場所	実施内容	参加人数	
						スタッフ	参加者
事業経過	3	6	7	小田南生涯学習 プラザ	普通救急救命講座	5	3
	3	7	31	藻川河川敷	デイキャンプ	5	26
	4	1	15	コープ尼崎近松店	シェイクアウト訓練 クロスロードゲーム	5	約 100 5 22
目標の達成状況	<p>参加者数値目標に対しては、告知や声かけに力を入れたので、コロナ禍であるにもかかわらず、目標を達成できた。</p> <p>また、参加者が防災知識を身に付けること、参加者同士の繋がりを作ることにおいても、目標を達成できた。</p>						
事業効果	<p>一人ひとりの防災意識を高め、人との繋がりの中で安心して過ごせる町になる。</p> <p>【具体的には】</p> <p>今年度の重点目標に関して、事後アンケートより</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 初めての人とコミュニケーションを図ること <ul style="list-style-type: none"> → 自己紹介の時間をしっかりと取る、名前を呼ぶ工夫などで、参加者の繋がりが出来た。 ②自分の知っていること、できることを周りに共有する。 <ul style="list-style-type: none"> → ☆帰宅後、子ども達が家族に話を伝えてくれた。 ☆ご高齢の方が、自分は守られる側で怖いから解決策はないかと思い参加したが、参加して知ったことを周りに教えてあげることが出来た。 ☆自身勤務先で、早速行ってみた。 等、学び経験したことを積極的に広めてくださっていることが伺えている。 <p>自助に関して、毎回のアンケートより</p> <p>良かったこととして、身を守るために知識が増えたことが多数上がっていた。</p>						
補助金交付終了後の事業展開、今後の展望	<p>次年度は、さらに協力者を増やしながら規模の拡大をしていきたいと考えています。</p> <p>【具体的には】</p> <p>団体を校区子ども会として登録し、関係機関のサポートを受けやすい体制を整えます。共同団体を増やし、規模の拡大（参加者の受け入れ拡充）を目指します。</p>						







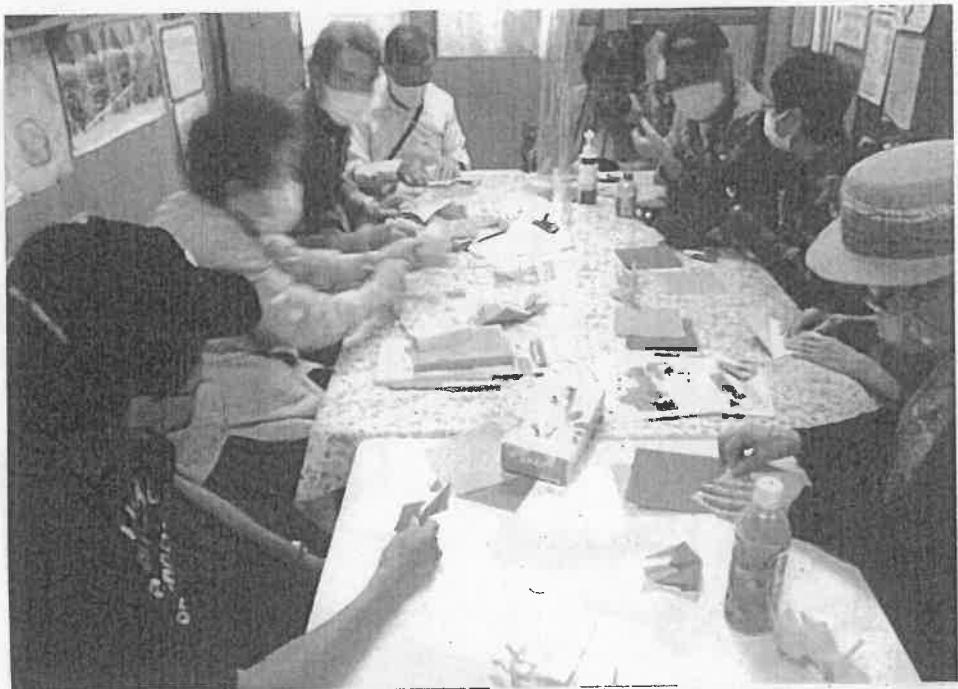


2-7 旧塚口永楽商店街跡 空き店舗活用地域親子次世代交流イベント開催

/NPO 法人 ASU ネット

活動地域	尼崎市
協働団体	たちばな NPO 協議会、NPO 法人歌と音楽の会
事業の目的・趣旨	地域の人達と次世代交流イベントを通して、大人と子どもが出会える地域コミュニティづくりを推進する。
事業内容	<p>1. 永楽亭塚口ルームでのイベント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちの歴史紹介 (10/9、11/30) 郷土史家の大村良夫氏を講師に迎え、塚口に残る江戸時代の名残など意外な歴史を紹介する講座を行った。 参加者 延べ 12 名 ・手作り折り紙教室 (10/3、12/5) 折り紙作家の末吉美智子氏を講師に迎え、認知症予防にもなり、周囲の人達とコミュニケーションを取りながら参加できる折り紙制作を行った。 参加者 延べ 16 名 ・作品展示 地域の方が撮った写真や、塚口周辺の昔の古地図などを展示した。 参加者 延べ 15 名 <p>2. 旧塚口永楽商店街でのイベント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども縁日・ヒーロー撮影会 (10/24) クイズやイラストコーナーの開催や尼崎のオリジナルヒーロー「赤龍神リュウ牙」との撮影会を行った。 参加者 約 30 名 ・塚口マルシェ (10/24) 断捨離や持ち込み品でのフリーマーケットを行った。 参加者 約 15 名

	年	月	日	場所	実施内容	参加人数	
						スタッフ	参加者
事業経過	3	7 ～11		永楽帝塚口ルーム	運営会議（各月1回）	8	
		10	初	近隣	チラシ配布	2	
		9	29	永楽帝塚口ルーム	まちの歴史紹介	2	延べ12
		10	10				
		12	11				
		10	3	永楽帝塚口ルーム	手作り折り紙教室	2	延べ16
		11	21				
		12	12				
		10	10	永楽帝塚口ルーム	作品展示	3	約15
		10	24	旧塚口永楽商店街	子ども縁日・ヒーロー撮影会	8	約30
		10	24	旧塚口永楽商店街	塚口マルシェ（断捨離品・持ち込み品フリーマーケット）	4	約15
目標の達成状況	新型コロナウイルスの影響で感染症対策をし、広報などにも気を遣い、当初より規模縮小も考えていたので、参加者の人達もそれほど気を遣うこともなく、適正な人数で予定通りの目標の事業が達成できた。						
事業効果	専門分野での実績・ノウハウのある参加団体やボランティアの協力で、コロナに負けない地域住民ふれあいコミュニティのある、時代にニーズにかなったモデル事業になった。特にひきこもりの大人、子ども達が外に出る機会ができる、交流イベントにつながった。						
補助金交付終了後の事業展開、今後の展望	今回の事業に参加した団体、またボランティアの人達との人間関係が構築され、相互の交流が深まり、組織の活性化が図れた。次回は今回の貴重な経験を活かして、自治会、学校も巻き込み、塚口古民家再生を通じた、大人と子どもの居場所づくり事業を展開していきたいと考えている。						





2-8 尼崎えびす神社手づくり市

/尼崎えびす神社手づくり市実行委員会

活動地域	尼崎市
協働団体	
事業の目的・趣旨	<ul style="list-style-type: none">・売り手が作成した手作り物の販売を通して人と人との交流を促すこと。・市内外の人に来ていただくことで地元商店街を含む地域活性化に繋げること。・一つ一つの手作り物に込められた想いや心を感じてもらうこと。
事業内容	<p>尼崎えびす神社及び神田公園にて手作り物の販売（テント・ござ 37 店）</p> <p>1 雑貨 2 飲食 3 子供向けワークショップ（食品サンプル）</p> <p>以上3部門の販売</p> <p>尚、今回はコロナ禍のため、予定していた舞台での音楽・パフォーマンス、地域子供の書道展は中止とした。</p>



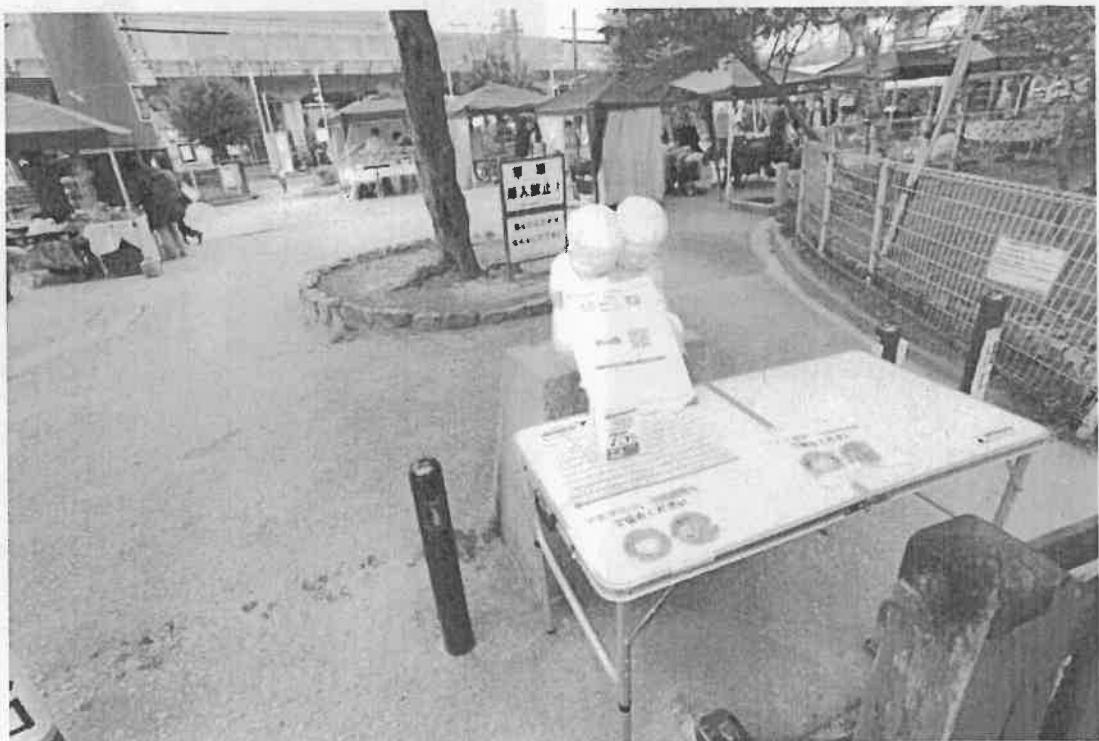
	年	月	日	場所	実施内容	参加人数	
						スタッフ	参加者
事業経過	2021	7	6	尼崎えびす神社	第1回 実行委員会 イベント内容協議 事業計画、出展者募集 締め切り、ポスター、チラシのデザイン案	12	11
		7	25	尼崎えびす神社	第2回 実行委員会 出店者報告 パフォーマンス決定事項 書道作品募集開始 テント設営計画	12	11
		8	10	地元商店街	ポスター、チラシ配布 ポスター約400、チラシ約500	12	8
		8	28	尼崎えびす神社	第3回 実行委員会 神田公園内区画図確認 出店料入金報告 パフォーマンス スケジュール決定	12	4
		9	15	尼崎えびす神社	第4回実行委員会 パフォーマンス 書道等の 中止事項決定	12	4
		9	18	中央公園 神田公園	看板・幟・ポスター設置 看板・幟設置	12	6
		9	26	尼崎えびす神社 神田公園	テント・舞台の区画整備・設営 尼崎えびす神社 手づくり市	12	4 7
目標の達成状況					コロナ禍状況において、来客数、例年同様の3500人には達することはできなかつたが、1,000人強の集客があった。市内外からの来客が、駅から神社までの参道として商店街を通過したことでの商店街の集客にも繋がった。近隣住民の交流機会としての目的も果たせていたと思う。		
事業効果					駅前中央公園に看板、幟を1週間設置させてもらったことで、手づくり市の認知度が高まり多くの人から地域活性化を応援する声をかけてもらった。 コロナ禍で多くのイベントが中止になる中、多くの人はストレスを抱えていたと思う。地域の人とコミュニケーションを取り、対策をきちんと取りながら思い切って開催し無事終了できたことを喜んでいただけたと感じた。 「コロナ社会と共に存する」という概念も少し発信できたと思う。		

**補助金交付
終了後の事業展開、今後の展望**

コロナがどうなるかも大きく影響すると思うが、地元地域に根差したこのイベントを拡大していきたい。今後、ますます利便性、コスト削減、時短に配慮される社会になる反面、時間もコストもかけた。

こだわりのある何かも求められる傾向になると思う。それらを提供する機会を作り、交流の中で「目に見えないもの」「思いやる気持ち」なども感じてもらえるイベントにしたい。

それが良い社会に繋がるよう暖かな内容を考えていきたい。



コロナ対策

(別紙4-1) 事業報告書添付写真

令和3年度ふるさとづくり応援事業 第1344号



出入口



ステージ



会場中央から西方面を望む



会場中央からやや西に進む



会場中央から東方面を望む

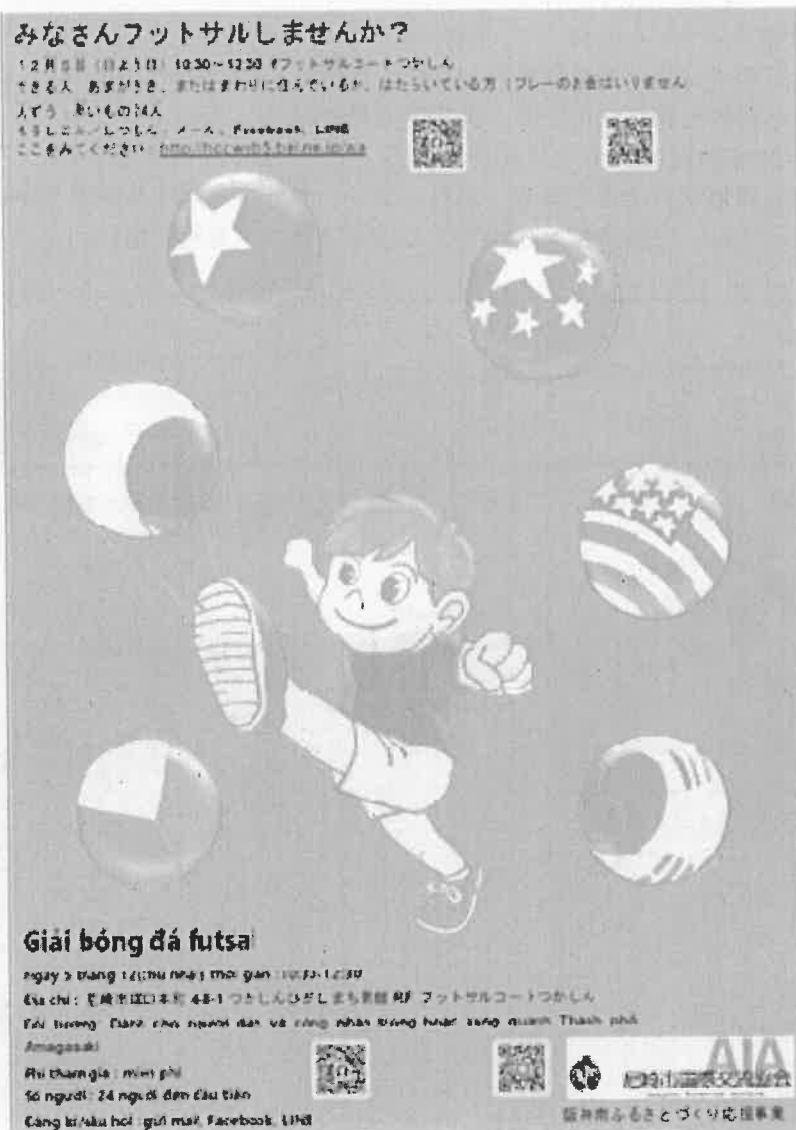


受付

2-9 フットサル国際交流事業

／尼崎市国際交流協会

活動地域	尼崎市
協働団体	
事業の目的・趣旨	世界共通言語であるサッカーを通じ、特に若い世代を中心として参加者同士が交流する機会を提供する。また、当協会を交流のハブとして認識してもらう。
事業内容	2か月に1回程度、市内フットサルコートにおいて、フットサルイベントを開催・運営する。参加対象者は、2回目までは性別・国籍問わず市内の外国人のみとし、3回目より人数限定で日本人も対象とする。協会メンバーにより、プレーの合間に参加者同士の話しをする機会も設けるなどイベントのマネジメントを行う。



事業経過	年	月	日	場所	実施内容	参加人数	
						スタッフ	参加者
事業経過	3	12	5	フットサルコート つかしん	4 チームによるフットサル ゲーム	5	22
目標の達成状況	新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言やまん延防止等重点措置実施に伴い、度重なる中止判断をしたため、1回のみの開催となり、当初目標とした5回を達成できなかった。						
事業効果	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツを通じた若年層外国人同士の交流を図ることができた ・市内スポーツ施設は日本語コミュニケーションの問題から外国人にとって活用が困難であり、イベント開催を通じて「外国人の施設利用」と「施設側の空きリソース活用」という双方にとってメリットとなる機会を提供できた。 ・当協会を国際交流促進団体として認識してもらうことができた。 						
補助金交付終了後の事業展開、今後の展望	<p>参加者アンケートにおいて、「他のチームと試合ができた」、「初めての人と交流できた」などのポジティブな意見とともに、78%が「とても楽しかった」、22%が「楽しかった」と好評を得られたため、次年度も是非継続したい。</p> <p>次年度は新型コロナウイルス感染リスクが低くなつた場合は、フットサル後の懇親会も開催する予定である。また、プレーヤーが所属する職場や学校等の組織にもアプローチし、交流の拡大と団結とのヒアリングを行いたい。</p>						





2-10 地域団体連携による子育て応援隊事業

/NPO法人 やんちゃんこ

活動地域	尼崎市
協働団体	日本ボーイスカウト尼崎地区協議会
事業の目的・趣旨	<p>既存の子育てに関わっている団体が、「尼崎市民まつり」の中で体験活動や広報を実施することを目指していたが、コロナによる緊急事態宣言が出ていたことから、その機会がなくなった。</p> <p>しかし、間際まで準備をしている状況であったため、少しでも子どもたちに遊びや活動の場の提供を実施したいと考え、宣言が解除され地域で情報提供ができるようになったイベントに参加変更をしてすることとした。</p> <p>子どもや高校生たちに発信する場があったため、遊びやゲームの実施と共に、次の遊び場への希望や期待など「こんなことをしてみたい！」等をアンケートに書いてもらう活動をした。</p> <p>各団体は、いつもの活動をPRしながら、実際の子どもたちの希望を聞くことがまた新しい刺激となり、次回開催のための意欲に繋がってとても良かった。</p>
事業内容	<p>【1回目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・尼崎市都市整備局による阪急塚口南側広場活用社会実験に参加 ・実際に行われるはずだった市民まつりの内容や歴史について展示をした。 ・子育て世代が参加してみたいイベントの内容についてのアンケートの実施。 ・「こんなことをしてみたい」という遊び場への希望や期待の声を子どもたちからも聞いた。 ・子どもたちにミニコーナーとして、遊びやゲームを実施・提供した <p>【2回目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・尼崎市ひと咲きプラザにて、つながりイベントに参加 ・1回目と同じ内容にて実施

	年	月	日	場所	実施内容	参加人数	
						スタッフ	参加者
事業経過	3	6	22	やんちゃんこ	参加団体での会議	2	8
		7	13	やんちゃんこ	参加団体での会議	2	10
		7	27	やんちゃんこ	参加団体での会議	2	10
		8	24	やんちゃんこ	参加団体での会議	2	9
		9	14	やんちゃんこ	参加団体での会議	2	8
		9	21	やんちゃんこ	参加団体での会議	2	10
		10	1	やんちゃんこ	参加団体での会議	2	10
		10	9	阪急塚口駅前	ミニ子どもひろば開催	6	100
		10	16	尼崎市 ひと咲きプラザ	ミニ子どもひろば開催	6	100
		11	19	やんちゃんこ	参加団体での会議	2	10
	4	12	10	やんちゃんこ	参加団体での会議	2	8
		1	28	やんちゃんこ	参加団体での会議	2	8
		2	25	やんちゃんこ	参加団体での会議	2	10
目標の達成状況					「尼崎市民まつり」が中止となったことに関連して、市内の地区まつりなどもすべて中止となった。唯一、市内で開催されるイベントであるが、コロナ禍であることから、阪急塚口の駅前（13時～15時）と尼崎市ひと咲きプラザ（10時～14時）で各100名の参加を見込んで実施した。 やはり全体的に人数は少なかったが、駅前の方はほぼ予定数の参加者であった。		
事業効果					参加する各団体は、市内の各地域で活動している実績があるため、計画時からコロナ禍での開催に対しても具体的なイメージを持って、取り組むことができた。 それぞれの団体は子育て支援を中心に活動しているため、その活動を周知したり、親子へ支援できる機会を広げる声かけなどは積極的にすることことができた。 市民まつりは中止となつたが、小規模であつても活動を実施することで、地域との関わりや繋がりが継続されていく効果が得られた。 今回は、今後に期待する内容などの意見もリサーチすることができて、新しい見方や考え方などを知ることができて良かった。		
補助金交付終了後の事業展開、今後の展望					せっかくリサーチすることができたので、子ども達や保護者が期待した内容を少しでも、市民まつりの中に落とし込んでいきたいと感じた。 コロナ禍であつても、支援のために何かと知恵を出し合って今まで通りの形とはまったく違つたことであったが実施できた。この団結力をぜひ、今まで通りのように子どもたちが集まることが復活した時に發揮して、市民がつながる活動の実現へといきたい。		



今までの市民まつりの歴史や各団体の紹介を展示



皆さんの声をまとめて展示



ミニゲームコーナー



高校生も参加！



尼崎市民まつりって？

阪神南ふるさとづくり応援事業

知ろう！遊ぼう！参加しよう！

*市民まつりの歴史を写真と解説で展示

50周年を迎える市民まつりの様子を紹介します。
懐かしい市内の様子を、今と比べてみてください！

*あなたの声をお聞かせください！

今年開催できませんでしたが、ぜひ来年の実施に向けて「こんなことできたらいいな」「こんなアイデアどうですか？」等、皆さんの声をアンケートで教えてください！

*遊びやゲームのミニ子ども広場開催！

子どもたちには、いろいろな遊びやゲームで楽しい時間
を過ごしましょう！



*2回開催をします！遊びに来てね！

・令和3年10月9日(土)

・阪急塚口南駅前ひろば

・13:00～15:00

・令和3年10月16日(土)

・尼崎市ひと咲きプラザ

・10:00～14:00



特定非営利活動法人 やんちゃんこ
日本ボーイスカウト尼崎地区協議会
市内子育て応援隊

2-11 リスム寺

/ちきちきクラブ

活動地域	尼崎市
協働団体	
事業の目的・趣旨	地域の交流を目的として、誰もが参加できるようなイベントを催し、園田地域の活性化を行う。
事業内容	<p>地域のお寺・福田寺（尼崎市東園田町）において、地域の商店や個人店舗、福祉作業所等に出店していただくとともに、地域ゆかりのミュージシャンによる音楽イベントを同時開催することによって、地域交流と世代間交流を促した。</p> <p>【Live（出演バンド等）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手作り打楽器体験（特別講師を迎えて、手作りバケツドラムでリズムワーク） ・チキニカ ・SACHIYA ONE MAN BAND ・STRC(サルバトーレターキとロマンチカ) ・口原和人 ・梶原徹也&Jam <p>野外の音楽イベントとあわせて、大きなキッチンカーによるタイ料理やカレーの販売を実施。そのほか、サヲリ織りワークショップによる織物体験、陶芸作品やアジアな雑貨の販売（チャリティーショップ）を実施。室内ではマッサージや野菜の販売なども行った。</p>



	年	月	日	場所	実施内容	参加人数	
						スタッフ	参加者
事業経過	3	11	20	福田寺（東園田）	心とカラダに「リズム寺」	30	500
目標の達成状況	6組のバンド等が出演して、1日で延べ400人が参加という当初の目標を越え、当日は500人の方々に参加していただいた。						
事業効果	<p>秋の福田寺に、元ブルーハーツのドラマー・梶原徹也氏を特別講師に迎えて、手作り打楽器で会場を賑やかにほか、境内でライブ演奏や食事、雑貨やみんなで参加して演奏を楽しむワークショップなどを展開する中で、子どもがマイクで唄ったりするなど、多くの参加者で盛り上がることができました。</p> <p>地域のまとめ役・相談役でもあるお寺と園田中央商店街一帯の協力を得て、心とカラダがリズムに乗って色々な壁をとっぱらい、子どもからお年寄りまで、また、立場の違い、障がいの有無など関係なく、誰が参加しても楽しめるイベントを開催することによって、地域の人達と共に認め合い、交流できる場所を創出するとともに、「地元住民として園田を盛り上げよう」という想いを表現することができた。</p>						
補助金交付終了後の事業展開、今後の展望	地域の商店や事業所などからパンフレットに載せる広告料を徴収すること等を含め、経費の確保に努め、経済的自立を目指したい。						



2-12 ジャズコンサート&ダンスパーティ2021

/コミュニティルーム武庫運営委員会

活動地域	尼崎市
協働団体	
事業の目的・趣旨	さまざまな世代が楽しめる音楽やダンスを通じて、県民交流広場の世代間の交流の場とし、「生きがい・やりがい」を醸成し、地域活性化につなげる。
事業内容	<p>1. 県民交流広場交流会（11/4） 尼崎市武庫地区内にある県民交流広場の代表者が集い、コロナ禍における活動状況の情報共有やジャズコンサート実施に向けた打合せを行った。 参加者数：6会館 8人</p> <p>2. ジャズコンサート 2021（12/4） 尼崎市武庫地域内の県民交流広場が連携し、本市を拠点に活動するジャズオーケストラを招いてコンサートを実施した。 コンサート開催時には各県民交流広場の取組を紹介し、地域の様々なコミュニティの活動拠点となっている会館のPRもあわせて行った。 クリスマスソングなど子どもも楽しめる曲目を取り入れたプログラムとし、幅広い世代に向けた内容とした。また、コンサート終了後の交流の場づくりとしてコミュニティルーム武庫運営委員会役員によるコーヒー提供も行った。 事業計画時には「ジャズコンサート&ダンスパーティ」としてジャズの演奏に加え、ダンスタイムも設ける予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のためジャズコンサートのみの開催とした。 参加者数：81人（うち県民交流広場関係者 18人） ※ジャズ奏者含むスタッフは 26人</p> <p>3. サンライズジャズオーケストラと振り返りの実施（2/28） 令和3年度の実施結果について、振り返りを行った。 参加者数：2人</p>

	年	月	日	場所	実施内容	参加人数	
						スタッフ	参加者
事業経過	3	11	4	尼崎市武庫西生涯 学習プラザ (1Fホール)	県民交流広場交流会 (各会館の情報共有および、 事業実施に向けた打合せ)	2人	8人
	3	12	4	尼崎市武庫西生涯 学習プラザ (3Fホール)	ジャズコンサート 2021	26人	81人
	3	2	28	オンライン	サンライズジャズオーケス トラと振り返りの実施	1人	1人
目標の 達成状況	ジャズコンサートへの参加人数：81人（目標：80人）						
事業効果	<p>地域の幅広い世代の交流の場とするとともに参加者の「いきがい・やりがい」を醸成し、地域コミュニティの活動拠点としての県民交流広場のPRを行った。</p> <p>新型コロナウィルス感染症拡大防止のため定員を絞っての開催となつたが、子どもから高齢者まで幅広い世代の参加があった。また、開催前から実施に関する問い合わせもあり、武庫地区の12月のイベントとして定着してきている。</p>						
補助金交付 終了後の事 業展開、今 後の展望	尼崎市武庫地域内の県民交流広場からの協賛金など財源を確保し、継続して実施していく。						



ジャズコンサート 2021 当日の様子



「県民交流広場」の PR



2-13 「魅力ある園田のまちづくり・グランドデザイン」の提言

／園田まちづくり委員会

活動地域	尼崎市
協働団体	非営利活動法人「尼崎一夢まち一委員会」
事業の目的・趣旨	<ol style="list-style-type: none"> 1. シチズンシップとまちの魅力の向上を目的に行政主導から市民主体によるまちづくりのアイデアを事前に提案し、情報公開によって行政・市民双方の意識化を図りつつ、具体的な事業化を検証する。 2. 市内6行政区で一律の公共サービスを享受するのではなく、地区ごとにその地域に見合ったサービスやまちづくりのアイデア等、魅力ある地元園田のまちづくり・グランドデザインを企画・提案する。
事業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域の共通課題である水害等の防災をテーマにした安心・安全のまちづくりを具現化する為の総合治水・防災拠点施設立地等、園田地域全体の広域的な、まちづくりガイドマップとして、インフラ整備計画等、実践的な活用を試みる。 2. 地域の特性や地元の歴史を認識し、園田地域をPRできる観光ガイドマップとしての歴史的・文化的検証やイベント情報の発信等、実践的な活用を試みる。 3. 幅広い地域の課題解決と、想定ニーズに基づくまちづくり・郷土創生を思案する為のガイドラインとなる園田地域のグランドデザインを「まちづくりガイドマップ20」の具体的な検証を基にリファイン、行政と市民による、パートナーシップに基づく協働提案と、更に具体的総合的まちづくりを実践。同マップはまちづくり研修等のツールとする。(100部)

	年	月	日	場所	実施内容	参加人数	
						スタッフ	参加者
事業経過	R.3	12	12	尼崎市立生涯学習プラザ	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり活動の経緯の確認と今後の活動 ・阪急園田駅周辺まちづくり協議会への活動支援 1 阪急園田駅前ロータリーの開発の今後と可能性 2 猪名川・藻川河川敷の活用 →親水護岸の提案 3 猪名川自然林の保全と活用提案 4 農業用水路治水池等の活用提案 5 園田競馬場の共同化と施設の活用提案 6 阪急神戸線高架問題とその可能性 7 農地活用と地場産業の可能性 	委員	10名
目標の達成状況	2020年に始まる「コロナ感染症」による社会環境下でほとんどの事業が縮小あるいは中止を余儀なくされる中、人を集めイベント方式から研修スタイルによる個々の意見を集約する提案型で資料作成を主とするスタイルに変えて、企画書・提案書（コンセプトシート）を取りまとめて「まちづくりガイドライン」および地元「ガイドマップ」2021年度版の製作に至った。						
事業効果	前年度作成した「まちづくりガイドマップ2020」「阪急園田駅周辺まちづくりガイドライン」をリファインし、より具体的な資料や検証例（提案事例）等を多く掲載することで、内容の充実化を図れた。						
補助金交付終了後の事業展開、今後の展望	<p>今年度作成した「まちづくり観光マップ21」「まちづくりガイドライン」を活用したアンケートを実施、内容に対する意見等を公募することで、対象とする小学児童・中高生徒・一般大人に地元園田のまちづくりの周知を図る。</p> <p>また、想定した7項目のまちづくりテーマからそれぞれのアイデア実現に向けた活動のプロセスとして、市民側（協議会）と行政機関（窓口）との連携を図り、これからも市民活動「まちづくり協議会」等の運営支援を継続し、作成した「まちづくりガイドマップ・ガイドライン」を基本に、「住みたいまち・園田のグランドデザイン」を考え、実践し、実現に向けて推進する。</p>						

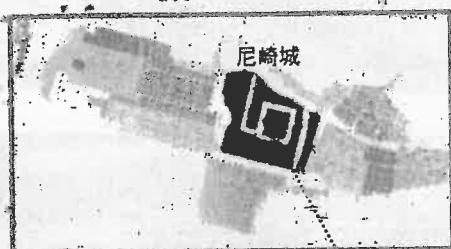
『魅力ある園田のまちづくり・グランドデザイン』

—猪名の里・田園都市構想：Garden City Movement—

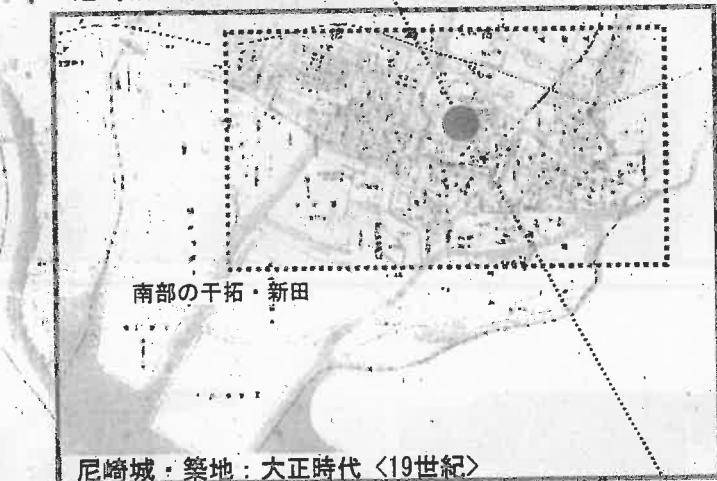
河川流域活性化 PROGRAM

—都市農業における環境学的都市構造—（にづら数据と）

国際環境アカデミー「人と人とそして大地の学校」をめざす



尼崎城・築地：江戸時代1630年代 <17世紀>



尼崎城・築地：大正時代 <19世紀>

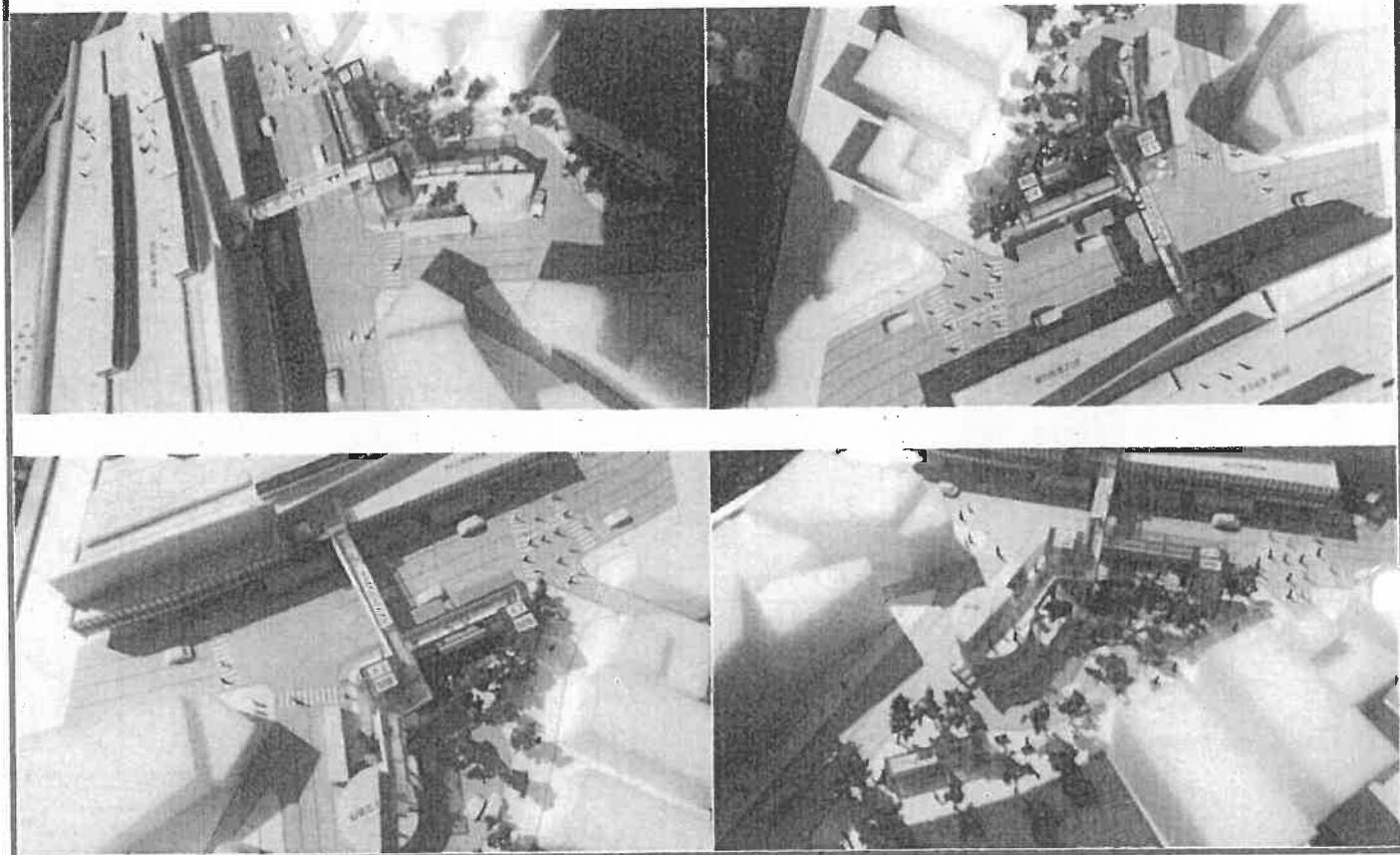


【水上交通アキヤス⇒避難+物資輸送ルート】

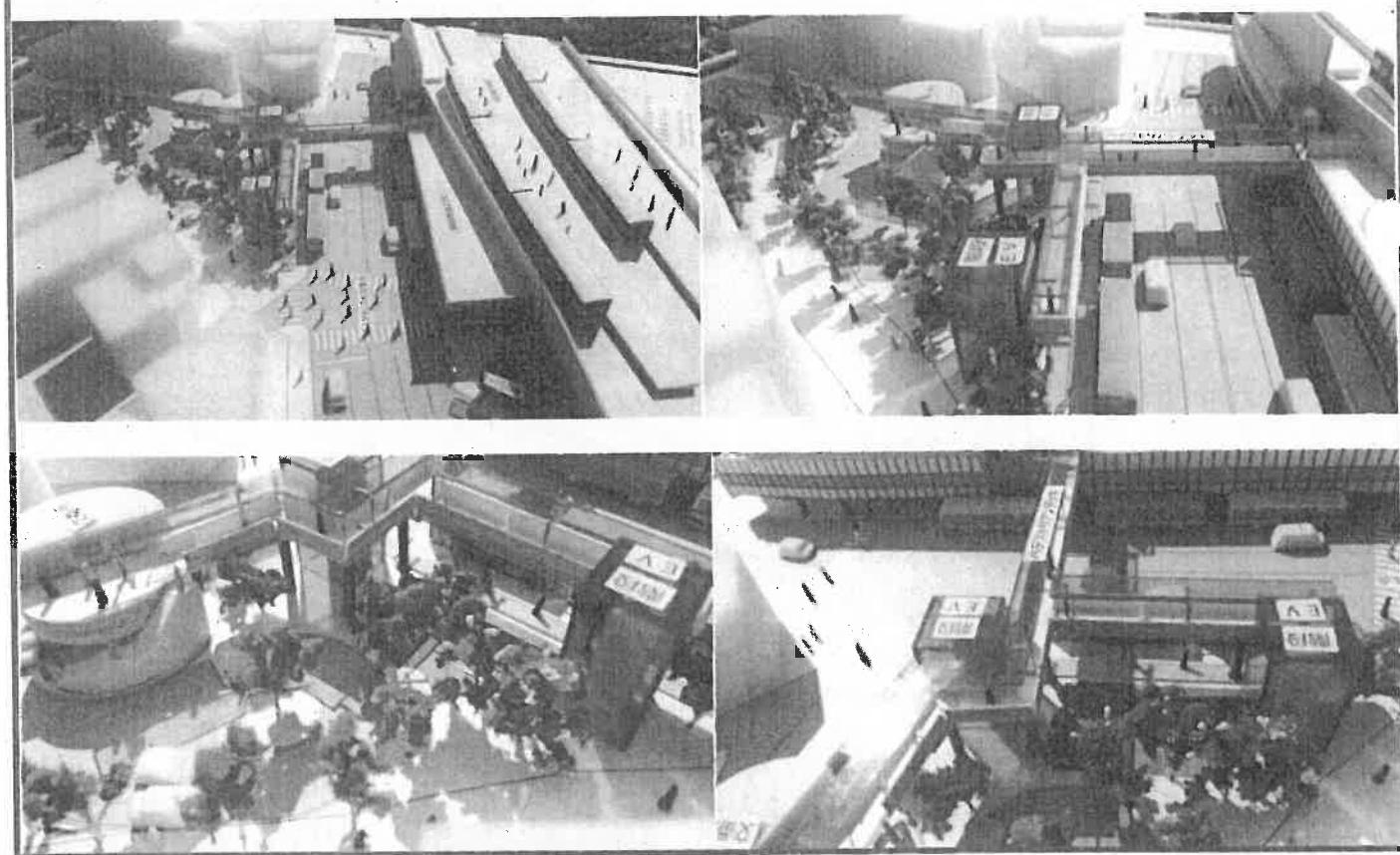
近代交通網の再生　近代都市：尼崎の歴史遺産　江戸文化：継承



9 ロータリー配置計画・イメージ模型 1



10 ロータリー配置計画・イメージ模型 2



2-14 コロナ禍の中、地域高齢者のいきがいづくりと多世代交流活性化事業

/なないろの会

活動地域	西宮市
協働団体	
事業の目的・趣旨	<p>当地区や周辺は高齢者が多く住み、長期の自粛生活や緊急事態宣言、まん延防止等で集会ができず、心身ともに疲弊している状況が継続。</p> <p>居住区内（徒歩数分）での楽しい催しに参加することで、コミュニケーション不足やストレスの解消ができる、元気を取り戻して、こどもたちや子育て世代の人たちとお互いに助け合うのを目的とした。</p>
	<p>☆10月30日（土）オータムフェスティバル 開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボッチャ大会（市住集会所にて） 参加人数制限し、8グループのトーナメント方式で対戦。 パラリンピックの影響で関心が高く、優勝が全く初めてのグループだったのでより盛り上がった。 ・フリーマーケット（市住広場にて） 参加店舗 15店 出店品・残品など自己管理とした。
事業内容	<p>☆1月23日（日）なないろ新春寄席 開催（市住集会場にて） 入場者 19人 参加費 100円集めた。人数制限のため、参加できなかつた方もいた状況。落語3題と沖縄三味線ショーを2時間演じた。 演者の方も発表の場を得て、いきいきと演じ、喜んでいる様子であった。</p> <p>◎コロナ禍での開催が危ぶまれていたが、感染予防対策を徹底して行い実施。 参加者から喜びと感謝の声をいただけて、嬉しく思った。 お手伝いの方もいきいきと準備や運営、片付けに協力してくださり、ありがとうございました。次回の開催を期待する声が多く、期待に応えられるよう努力していく。</p>

	年	月	日	場所	実施内容	参加人数	
						スタッフ	参加者
事業経過	3	7	1	マイマート集会室	第1回運営委員会	14	
			15	〃	第2回運営委員会	11	
		8	5	七団集会所	デザイナーとの打合ほか	7	
			22	〃	デザイナーとチラシ校正ほか	5	
		9	2	マイマート集会室	第3回運営委員会、チラシ校正	10	
			12	〃	第4回運営委員会	11	
		10	14	〃	ボッチャ競技者、フリマ出店者確認	8	
			21	七団集会所	フェスティバル準備	11	
		29	〃	〃	〃	14	
			30	〃	フェスティバル開催日	14	約 80
		11	4	マイマート集会室	フェスティバル集計作業	7	
		12	2	〃	第5回運営委員会（新春寄席）	11	
4	4		12	〃	新春寄席打合	7	
			16	〃	第6回運営委員会	11	
		1	16	〃	第7回運営委員会	14	
			21	〃	新春寄席準備	10	
			22	七団集会所	〃	7	
			23	〃	新春寄席開催日	14	23
			24	〃	〃片付け	6	
		2	3	マイマート集会室	反省・集計作業	6	
目標の達成状況	10月30日 オータムフェスティバル 計 約94名 (ボッチャ参加者25人、出店者15人、出店者友人家族20人、一般客 約20人、スタッフ14人) 一般客が少なかった。						
	1月23日 新春寄席 計37人 (参加者19人、演者4人、スタッフ14人)						
事業効果	ボッチャに興味を持った方が多く、ボッチャクラブを設立した。フリーマーケットは店主の友人や家族が同伴したので、世代を超えた交流ができた。一般の買い物客は少なかったので、売り上げは多くはなかったようだが、賑わいが感じられた。新春寄席では、沖縄三味線ショーの人気が高く、落語の3人も各自の持ち味を生かし、会場が大いに笑いに包まれた。						
	コロナ禍で参加人数を制限し、チラシを広範囲に配布できなかつたのは残念である。遠くまで行けなかつた高齢者より、居住地内での開催を喜ぶ声が多かつたので、工夫して継続開催し、皆さんに喜んでいただきたい。 こどもたちも参加できるよう、土日開催で調整を行っていく。						
補助金交付終了後の事業展開、今後の展望							



フリー マーケットの様子
(オータムフェスティバル)

